

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	平成23年 4月14日提出
【発行者名】	損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 数間 浩喜
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋二丁目 2番16号
【事務連絡者氏名】	吉田 雄資
【電話番号】	03-5290-3423
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	ハッピーエイジング 20 ハッピーエイジング 30 ハッピーエイジング 40 ハッピーエイジング 50 ハッピーエイジング 60 （以上を総称して「ハッピーエイジング・ファンド」ということがあります。）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	募集額 各2,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、半期報告書を提出し、平成22年10月14日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）につきまして訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するものであります。

2【訂正の内容】

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部____は訂正内容を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

（1）ファンドの目的及び基本的性格

<訂正前>

（略）

<ファンドの特色>

（略）

ファンドの特色

1 主として各マザーファンドの受益証券への投資を通して、国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式及び債券に積極的に分散投資を行うことにより、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

投資対象資産	投資対象とするマザーファンド等
国内株式	損保ジャパン日本株マザーファンド 損保ジャパン-DIAM日本株アクティブ・マザーファンド*1
国内債券	損保ジャパン日本債券マザーファンド
外国債券	損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド
外国株式	損保ジャパン-TCW外国株式マザーファンド*2
エマーシング株式	エマーシング株式またはエマーシング株式を主要投資対象とする証券投資信託*3

*1日本株式の運用指図に関する権限を、DIAMアセットマネジメント株式会社(以下、「DIAM」といいます。)に委託します。

*2外国株式の運用指図に関する権限を、TCW INVESTMET MANAGEMENT COMPANY(以下、「TCW」といいます。)に委託します。なお、TCWはその運用の一部につき、運用指図に関する権限を委託することがあります。平成22年8月末現在、TCWはマザーファンドの欧州株式の運用指図に関する権限をGLG Partners International Limitedに委託しています。

*3当ファンドは平成22年8月末現在、パッシブ運用を行うETFの組入れを行っており、今後も同様の運用を行う証券投資信託受益証券を組入れる可能性があります。パッシブ運用とはベンチマーク(市場指数等)と連動する投資成果を目指す運用手法です。また、ETFとは、株価指数などへ連動することを目的に運用されている投資信託のうち、取引所等に上場されている投資信託をさします。

（略）

<訂正後>

（略）

<ファンドの特色>

（略）

ファンドの特色

1 主として各マザーファンドの受益証券への投資を通して、国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式及び債券に積極的に分散投資を行うことによつて、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

投資対象資産	投資対象とするマザーファンド等
国内株式	損保ジャパン日本株マザーファンド 損保ジャパン-DIAM日本株アクティブ・マザーファンド*1
国内債券	損保ジャパン日本債券マザーファンド
外国債券	損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド
外国株式	損保ジャパン-TCW外国株式マザーファンド*2
エマージング株式	エマージング株式またはエマージング株式を主要投資対象とする証券投資信託*3

*1日本株式の運用指図に関する権限を、DIAMアセットマネジメント株式会社(以下、「DIAM」といいます。)に委託します。

*2外国株式の運用指図に関する権限を、TCW INVESTMET MANAGEMENT COMPANY(以下、「TCW」といいます。)に委託します。なお、TCWはその運用の一部につき、運用指図に関する権限を委託することがあります。平成23年2月末現在、TCWはマザーファンドの欧州株式の運用指図に関する権限をGLG Partners International Limitedに委託しています。

*3当ファンドは平成23年2月末現在、パッシブ運用を行うETFの組入れを行っており、今後も同様の運用を行う証券投資信託受益証券を組入れる可能性があります。パッシブ運用とはベンチマーク(市場指数等)と連動する投資成果を目指す運用手法です。また、ETFとは、株価指数などへ連動することを目的に運用されている投資信託のうち、取引所等に上場されている投資信託をさします。

(略)

(3) ファンドの仕組み

<訂正前>

(略)

委託会社等の概況

() 資本金の額 1,550百万円 (平成22年10月1日現在)

(略)

() 大株主の状況 (平成22年10月1日現在)

(略)

<訂正後>

(略)

委託会社等の概況

() 資本金の額 1,550百万円 (平成23年2月末現在)

(略)

() 大株主の状況 (平成23年2月末現在)

(略)

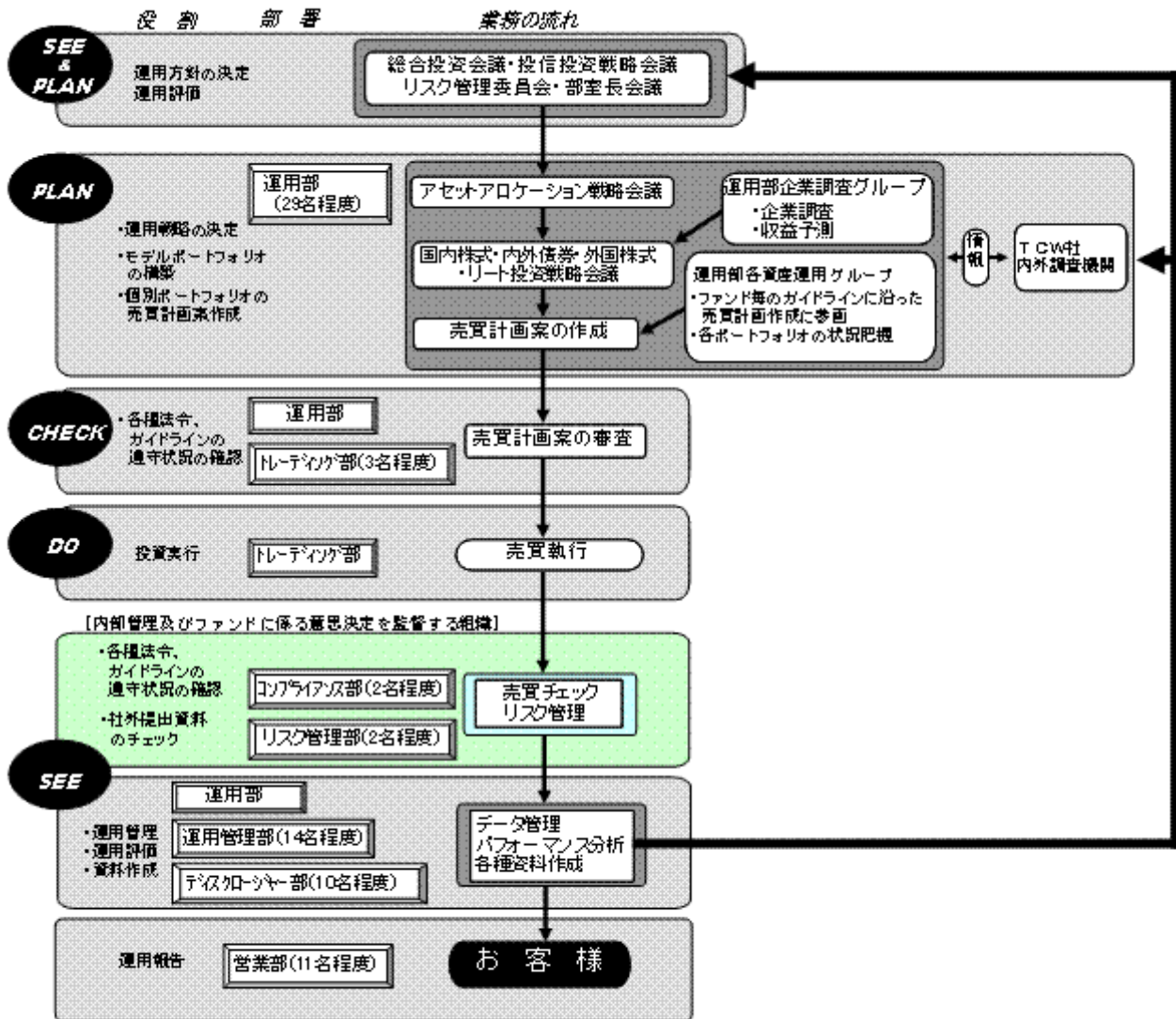
2 投資方針

(3) 運用体制

<訂正前>

(略)

<当ファンドの運用の意思決定プロセス>

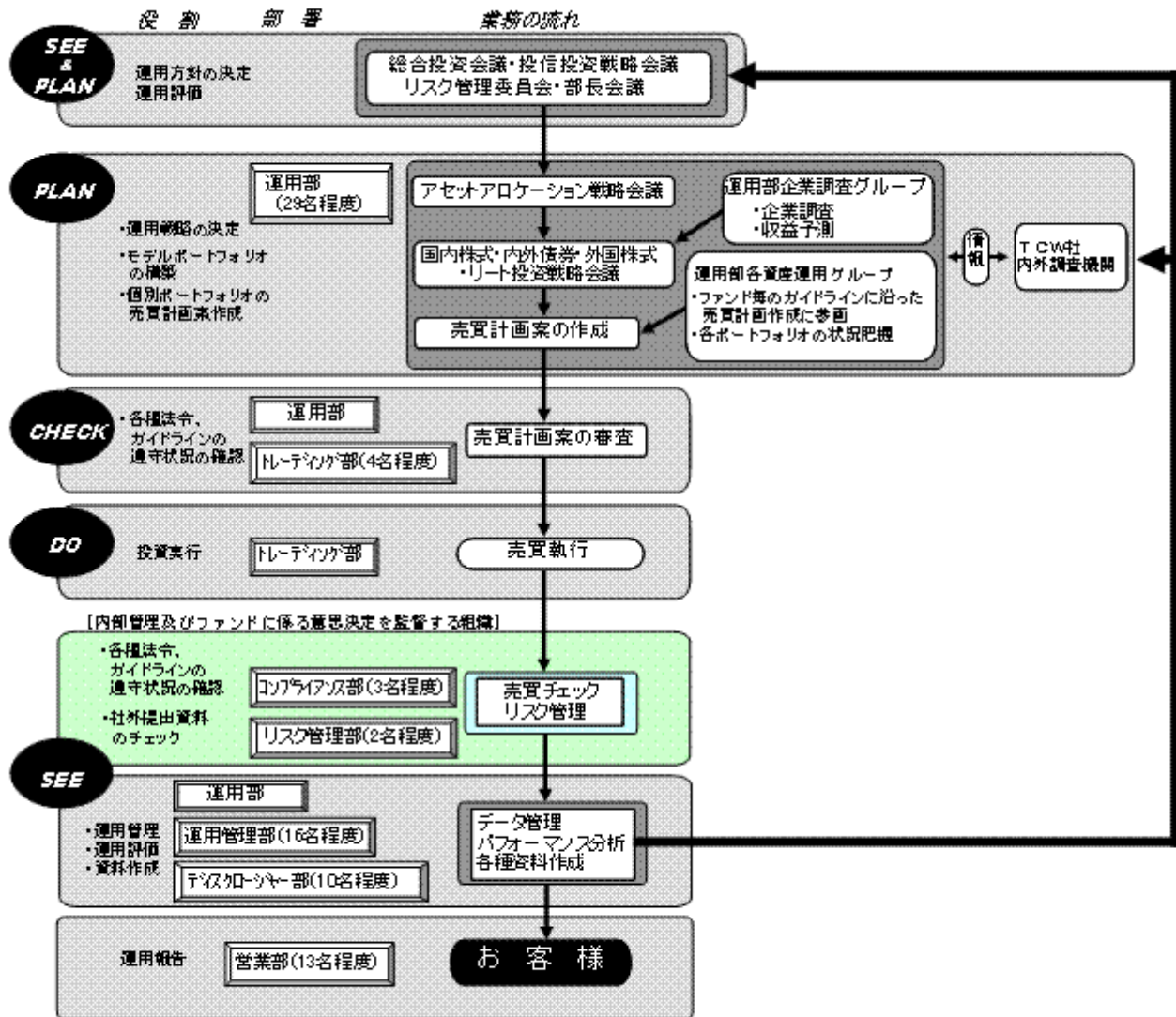


(注) 上図は、平成22年10月1日現在のものであり、今後変更されることもあります。

< 訂正後 >

(略)

< 当ファンドの運用の意思決定プロセス >



(注) 上図は、平成23年2月末現在のものであり、今後変更されることもあります。

3 投資リスク

< 訂正前 >

(略)

< リスクの管理体制 >

(略)

(注) 上図は、平成22年10月1日現在のものであり、今後変更されることもあります。

(略)

< 訂正後 >

(略)

< リスクの管理体制 >

(略)

(注) 上図は、平成23年2月末現在のものであり、今後変更されることもあります。

(略)

5 運用状況

以下の内容に更新・訂正します。

<更新・訂正後>

(1) 投資状況

ハッピーエイジング20

平成23年1月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	3,960,238,320	93.38
投資信託受益証券	アメリカ	193,977,207	4.57
現金及びその他の資産(負債控除後)		86,757,711	2.05
合計(純資産総額)		4,240,973,238	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です(以下同じ)。

(注2) 時価合計(円)については、平成23年1月31日現在のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております(以下同じ)。

ハッピーエイジング30

平成23年1月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	4,781,482,127	93.36
投資信託受益証券	アメリカ	234,686,233	4.58
現金及びその他の資産(負債控除後)		105,640,782	2.06
合計(純資産総額)		5,121,809,142	100.00

ハッピーエイジング40

平成23年1月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	6,694,021,922	93.38
投資信託受益証券	アメリカ	328,808,616	4.59
現金及びその他の資産(負債控除後)		145,934,204	2.03
合計(純資産総額)		7,168,764,742	100.00

ハッピーエイジング50

平成23年1月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	3,442,820,510	95.25
投資信託受益証券	アメリカ	98,581,368	2.73
現金及びその他の資産(負債控除後)		73,236,540	2.02
合計(純資産総額)		3,614,638,418	100.00

ハッピーエイジング60

平成23年1月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	2,073,601,758	98.01
現金及びその他の資産（負債控除後）		42,002,893	1.99
合計（純資産総額）		2,115,604,651	100.00

<参考>

上記表における「親投資信託受益証券」は、全て「損保ジャパン日本株マザーファンド」「損保ジャパン - D I A M日本株アクティブ・マザーファンド」「損保ジャパン日本債券マザーファンド」「損保ジャパン - T C W外国株式マザーファンド」「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」の受益証券であります。同マザーファンドの全体の投資状況は以下のとおりです。

損保ジャパン日本株マザーファンド

平成23年1月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	6,322,135,500	98.15
現金及びその他の資産（負債控除後）		118,906,279	1.85
合計（純資産総額）		6,441,041,779	100.00

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

損保ジャパン - D I A M日本株アクティブ・マザーファンド

平成23年1月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	4,096,348,600	98.45
現金及びその他の資産（負債控除後）		64,392,012	1.55
合計（純資産総額）		4,160,740,612	100.00

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

損保ジャパン - T C W外国株式マザーファンド

平成23年1月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	3,931,702,809	70.22
	イギリス	480,349,805	8.58
	フランス	225,294,879	4.02
	ドイツ	214,598,878	3.83
	スイス	188,909,799	3.37
	イタリア	109,277,576	1.95
	オランダ	69,767,253	1.25
	デンマーク	57,726,776	1.03
	ノルウェー	57,241,147	1.02
	ベルギー	43,699,179	0.78
	スペイン	12,869,776	0.23
	スウェーデン	8,137,121	0.15
	フィンランド	6,087,410	0.11
	オーストリア	4,022	0.00
小計		5,405,666,430	96.54
現金及びその他の資産（負債控除後）		193,473,899	3.46
合計（純資産総額）		5,599,140,329	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）時価合計（円）については、平成23年1月31日現在のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

平成23年 1月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
公社債	日本	10,093,844,256	99.17
現金及びその他の資産（負債控除後）		84,238,030	0.83
合計(純資産総額)		10,178,082,286	100.00

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

平成23年 1月31日現在

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
公社債	アメリカ	1,702,094,323	40.00
	ドイツ	548,913,081	12.90
	イタリア	548,559,171	12.89
	フランス	392,621,892	9.23
	イギリス	358,757,037	8.43
	ベルギー	145,177,801	3.41
	スペイン	117,635,763	2.76
	デンマーク	71,381,574	1.68
	カナダ	53,075,725	1.25
	メキシコ	35,248,963	0.83
	ポーランド	33,226,243	0.78
	スウェーデン	28,107,618	0.66
	オーストラリア	25,607,641	0.60
	マレーシア	18,197,705	0.43
	シンガポール	15,871,677	0.37
小計		4,094,476,214	96.22
現金及びその他の資産（負債控除後）		160,858,335	3.78
合計(純資産総額)		4,255,334,549	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）時価合計（円）については、平成23年 1月31日現在のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a. 評価額上位30銘柄

ハッピーエイジング20

平成23年1月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	保有数量 (口)	簿価 単価 (円)	簿価金額 (円)	評価 単価 (円)	評価金額 (円)	評価損益 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファン ド	1,724,621,268	0.7287	1,256,684,648	0.8111	1,398,840,310	142,155,662	32.98
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン-D I A M日本株アクティブ・ マザーファンド	1,256,295,228	0.8105	1,018,180,150	0.8847	1,111,444,388	93,264,238	26.21
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン日本株マ ザーファンド	1,152,597,066	0.8924	1,028,529,696	0.9587	1,104,994,807	76,465,111	26.06
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン外国債券 (為替ヘッジなし)マ ザーファンド	270,130,981	0.9890	267,168,280	0.9548	257,921,060	9,247,220	6.08
アメリ カ	投資信託受 益証券	VANGUARD EMERGING MARKETS ETF	51,333.000	3,368.9	172,934,881	3,778.8	193,977,207	21,042,326	4.57
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン日本債券 マザーファンド	72,440,912	1.2047	87,269,029	1.2015	87,037,755	231,274	2.05

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です(以下同じ)。

ハッピーエイジング30

平成23年1月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	保有数量 (口)	簿価 単価 (円)	簿価金額 (円)	評価 単価 (円)	評価金額 (円)	評価損益 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン-D I A M日本株アクティブ・ マザーファンド	1,280,333,099	0.8107	1,038,007,168	0.8847	1,132,710,692	94,703,524	22.12
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン日本株マ ザーファンド	1,173,232,668	0.8927	1,047,393,156	0.9587	1,124,778,158	77,385,002	21.96
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファン ド	1,320,272,069	0.7275	960,501,410	0.8111	1,070,872,675	110,371,265	20.91
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン外国債券 (為替ヘッジなし)マ ザーファンド	1,083,234,807	0.9891	1,071,481,108	0.9548	1,034,272,593	37,208,515	20.19
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン日本債券 マザーファンド	348,604,253	1.2045	419,892,807	1.2015	418,848,009	1,044,798	8.18
アメリ カ	投資信託受 益証券	VANGUARD EMERGING MARKETS ETF	62,106.000	3,361.3	208,758,472	3,778.8	234,686,233	25,927,761	4.58

ハッピーエイジング40

平成23年1月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	保有数量 (口)	簿価 単価 (円)	簿価金額 (円)	評価 単価 (円)	評価金額 (円)	評価損益 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン日本債券 マザーファンド	2,001,410,832	1.2045	2,410,689,986	1.2015	2,404,695,114	5,994,872	33.54
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン-D I A M日本株アクティブ・ マザーファンド	1,258,360,083	0.8091	1,018,180,549	0.8847	1,113,271,165	95,090,616	15.53
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン日本株マ ザーファンド	1,150,342,917	0.8911	1,025,047,929	0.9587	1,102,833,754	77,785,825	15.38
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン外国債券 (為替ヘッジなし)マ ザーファンド	1,130,715,138	0.9888	1,118,051,130	0.9548	1,079,606,813	38,444,317	15.06
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファン ド	1,225,021,670	0.7262	889,589,535	0.8111	993,615,076	104,025,541	13.86

アメリカ	投資信託受益証券	VANGUARD EMERGING MARKETS ETF	87,014.000	3,353.9	291,840,135	3,778.8	328,808,616	36,968,481	4.59
------	----------	-------------------------------	------------	---------	-------------	---------	-------------	------------	------

ハッピーエイジング50

平成23年1月31日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	保有数量 (口)	簿価 単価 (円)	簿価金額 (円)	評価 単価 (円)	評価金額 (円)	評価損益 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン日本債券 マザーファンド	1,732,296,850	1.2046	2,086,707,480	1.2015	2,081,354,665	5,352,815	57.58
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン外国債券 (為替ヘッジなし)マ ザーファンド	415,511,607	0.9890	410,929,901	0.9548	396,730,482	14,199,419	10.98
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン-D I A M日本株アクティブ・ マザーファンド	386,000,455	0.8105	312,867,146	0.8847	341,494,602	28,627,456	9.45
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン日本株マ ザーファンド	353,314,569	0.8922	315,216,822	0.9587	338,722,677	23,505,855	9.37
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファン ド	350,780,526	0.7254	254,456,918	0.8111	284,518,084	30,061,166	7.87
アメ リカ	投資信託受 益証券	VANGUARD EMERGING MARKETS ETF	26,088.000	3,346.7	87,307,903	3,778.8	98,581,368	11,273,465	2.73

ハッピーエイジング60

平成23年1月31日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	保有数量 (口)	簿価 単価 (円)	簿価金額 (円)	評価 単価 (円)	評価金額 (円)	評価損益 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン日本債券 マザーファンド	1,448,298,807	1.2046	1,744,660,208	1.2015	1,740,131,016	4,529,192	82.25
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン外国債券 (為替ヘッジなし)マ ザーファンド	131,709,061	0.9894	130,315,824	0.9548	125,755,811	4,560,013	5.94
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン-T C W 外国株式マザーファン ド	101,918,227	0.7273	74,125,074	0.8111	82,665,873	8,540,799	3.91
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン-D I A M日本株アクティブ・ マザーファンド	71,095,276	0.8079	57,436,432	0.8847	62,897,990	5,461,558	2.97
日本	親投資信託 受益証券	損保ジャパン日本株マ ザーファンド	64,828,485	0.8896	57,670,115	0.9587	62,151,068	4,480,953	2.94

b. 種類別投資比率

ハッピーエイジング20

平成23年1月31日現在

種類	投資比率 (%)
親投資信託受益証券	93.38
投資信託受益証券	4.57
合計	97.95

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する種類別の時価の比率です(以下同じ)。

ハッピーエイジング30

平成23年1月31日現在

種類	投資比率 (%)
親投資信託受益証券	93.36
投資信託受益証券	4.58
合計	97.94

ハッピーエイジング40

平成23年1月31日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	93.38
投資信託受益証券	4.59
合計	97.97

ハッピーエイジング50

平成23年1月31日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	95.25
投資信託受益証券	2.73
合計	97.98

ハッピーエイジング60

平成23年1月31日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	98.01
合計	98.01

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

[次へ](#)

<参考> 損保ジャパン日本株マザーファンド

投資有価証券の主要銘柄

a. 評価額上位30銘柄

平成23年1月31日現在

順位	市場	銘柄名	種類	業種	保有数量 (株)	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	東証一部	本田技研	国内株式	輸送用機器	78,600	2,527	198,652,883	3,475	273,135,000	4.24
2	東証一部	日本電信電話	国内株式	情報・通信業	70,200	3,699	259,636,520	3,810	267,462,000	4.15
3	東証一部	住友商事	国内株式	卸売業	216,600	898	194,464,809	1,181	255,804,600	3.97
4	東証一部	東日本旅客鉄道	国内株式	陸運業	47,000	5,852	275,061,730	5,420	254,740,000	3.95
5	東証一部	新日本製鐵	国内株式	鉄鋼	865,000	290	250,668,996	280	242,200,000	3.76
6	東証一部	M S & A D	国内株式	保険業	121,400	1,910	231,841,998	1,952	236,972,800	3.68
7	東証一部	K D D I	国内株式	情報・通信業	459	425,604	195,352,229	461,000	211,599,000	3.29
8	東証一部	三菱UFJフィナンシャルG	国内株式	銀行業	461,300	406	187,477,497	426	196,513,800	3.05
9	東証一部	トヨタ自動車	国内株式	輸送用機器	51,800	3,037	157,331,082	3,400	176,120,000	2.73
10	東証一部	みずほフィナンシャルG	国内株式	銀行業	970,400	136	131,530,078	158	153,323,200	2.38
11	東証一部	第一生命	国内株式	保険業	1,091	109,534	119,501,276	128,800	140,520,800	2.18
12	東証一部	富士フイルムHLDS	国内株式	化学	47,300	2,559	121,022,085	2,965	140,244,500	2.18
13	東証一部	日本たばこ産業	国内株式	食料品	424	273,397	115,920,133	308,000	130,592,000	2.03
14	東証一部	リコー	国内株式	電気機器	111,000	1,145	127,042,816	1,169	129,759,000	2.01
15	大証	ベネッセホールディングス	国内株式	サービス業	33,900	3,884	131,678,674	3,680	124,752,000	1.94
16	東証一部	塩野義製薬	国内株式	医薬品	82,100	1,830	150,246,608	1,508	123,806,800	1.92
17	東証一部	信越化学	国内株式	化学	25,400	4,092	103,930,063	4,620	117,348,000	1.82
18	東証一部	ブリヂストン	国内株式	ゴム製品	72,800	1,433	104,297,691	1,576	114,732,800	1.78
19	東証一部	キリンHD	国内株式	食料品	93,000	1,137	105,780,194	1,104	102,672,000	1.59
20	東証一部	三井物産	国内株式	卸売業	72,700	1,117	81,180,192	1,380	100,326,000	1.56
21	東証一部	豊田通商	国内株式	卸売業	63,500	1,250	79,367,829	1,443	91,630,500	1.42
22	東証一部	富士通	国内株式	電気機器	171,000	550	93,971,887	511	87,381,000	1.36
23	東証一部	三井住友フィナンシャルG	国内株式	銀行業	28,400	2,536	72,027,933	2,792	79,292,800	1.23
24	東証一部	JFEホールディングス	国内株式	鉄鋼	29,900	2,669	79,809,265	2,635	78,786,500	1.22
25	東証一部	豊田合成	国内株式	輸送用機器	39,700	1,973	78,347,187	1,916	76,065,200	1.18
26	東証一部	西日本旅客鉄道	国内株式	陸運業	240	319,244	76,618,477	313,000	75,120,000	1.17
27	東証一部	日本板硝子	国内株式	ガラス・土石製品	351,000	198	69,361,005	213	74,763,000	1.16
28	東証一部	マツダ	国内株式	輸送用機器	305,000	202	61,576,472	242	73,810,000	1.15
29	東証一部	みずほ証券	国内株式	証券、商品先物取引業	330,000	200	66,038,974	216	71,280,000	1.11
30	東証一部	大林組	国内株式	建設業	175,000	343	60,029,234	392	68,600,000	1.07

(注1) 評価額組入上位30銘柄について記載しています。

(注2) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の時価の比率です。

b. 種類別投資比率

平成23年1月31日現在

資産の種類	投資比率（％）
株式	98.15
合計	98.15

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する種類別の時価の比率です。

c. 業種別投資比率

平成23年1月31日現在

業種	評価金額（円）	投資比率（％）
銀行業	623,038,800	9.67
情報・通信業	601,522,000	9.34
輸送用機器	599,130,200	9.30
卸売業	581,542,500	9.03
電気機器	443,726,200	6.89
保険業	428,370,400	6.65
鉄鋼	408,010,500	6.33
化学	383,518,900	5.95
陸運業	362,350,000	5.63
建設業	347,096,400	5.39
食料品	250,361,000	3.89
医薬品	249,056,700	3.87
小売業	223,315,000	3.47
証券,商品先物取引業	179,638,900	2.79
サービス業	162,985,400	2.53
ゴム製品	151,860,800	2.36
機械	80,919,000	1.26
ガラス・土石製品	74,763,000	1.16
その他製品	59,600,000	0.93
鉱業	34,017,000	0.53
不動産業	33,490,800	0.52
精密機器	18,373,000	0.29
金属製品	15,799,000	0.25
電気・ガス業	9,650,000	0.15
合計	6,322,135,500	98.15

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

<参考> 損保ジャパン - D I A M日本株アクティブ・マザーファンド

投資有価証券の主要銘柄

a . 評価額上位30銘柄

平成23年1月31日現在

順位	市場	銘柄名	種類	業種	保有数量 (株)	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	東証一部	トヨタ自動車	国内株式	輸送用機器	50,000	3,175	158,750,000	3,400	170,000,000	4.09
2	東証一部	本田技研	国内株式	輸送用機器	43,000	2,694	115,843,784	3,475	149,425,000	3.59
3	東証一部	三菱UFJフィナンシャルG	国内株式	銀行業	350,000	410	143,502,997	426	149,100,000	3.58
4	東証一部	三井住友フィナンシャルG	国内株式	銀行業	50,000	2,516	125,793,779	2,792	139,600,000	3.36
5	東証一部	キヤノン	国内株式	電気機器	30,000	3,490	104,700,000	4,025	120,750,000	2.90
6	東証一部	東京海上HD	国内株式	保険業	45,000	2,412	108,540,000	2,446	110,070,000	2.65
7	東証一部	ファナック	国内株式	電気機器	7,500	10,592	79,441,056	12,960	97,200,000	2.34
8	東証一部	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	国内株式	情報・通信業	650	137,300	89,245,000	146,500	95,225,000	2.29
9	東証一部	三井物産	国内株式	卸売業	68,000	1,131	76,908,000	1,380	93,840,000	2.26
10	東証一部	三井不動産	国内株式	不動産業	54,000	1,322	71,388,000	1,668	90,072,000	2.16
11	東証一部	住友電工	国内株式	非鉄金属	75,000	1,061	79,575,000	1,192	89,400,000	2.15
12	東証一部	日本電信電話	国内株式	情報・通信業	22,000	3,705	81,510,000	3,810	83,820,000	2.01
13	東証一部	住友化学	国内株式	化学	195,000	359	70,009,939	424	82,680,000	1.99
14	東証一部	東日本旅客鉄道	国内株式	陸運業	15,000	5,840	87,600,000	5,420	81,300,000	1.95
15	東証一部	オリックス	国内株式	その他金融業	9,500	6,745	64,074,261	8,100	76,950,000	1.85
16	東証一部	京セラ	国内株式	電気機器	9,000	7,817	70,356,510	8,540	76,860,000	1.85
17	ジャスダック	楽天	国内株式	サービス業	1,030	66,512	68,507,528	72,200	74,366,000	1.79
18	東証一部	日本テレビ放送網	国内株式	情報・通信業	5,700	12,013	68,472,858	13,000	74,100,000	1.78
19	東証一部	JXホールディングス	国内株式	石油・石炭製品	130,000	471	61,234,518	555	72,150,000	1.73
20	マザーズ	サイバーエージェント	国内株式	サービス業	310	146,709	45,479,916	231,500	71,765,000	1.72
21	大証	任天堂	国内株式	その他製品	3,200	24,750	79,199,951	22,180	70,976,000	1.71
22	東証一部	小松製作所	国内株式	機械	29,000	1,766	51,214,000	2,444	70,876,000	1.70
23	大証	日本電産	国内株式	電気機器	9,000	7,979	71,814,634	7,730	69,570,000	1.67
24	東証一部	東レ	国内株式	繊維製品	125,000	446	55,750,000	544	68,000,000	1.63
25	東証一部	リンテック	国内株式	その他製品	28,000	1,861	52,115,734	2,296	64,288,000	1.55
26	東証一部	三菱電機	国内株式	電気機器	70,000	737	51,590,000	905	63,350,000	1.52
27	東証一部	アイシン精機	国内株式	輸送用機器	20,000	2,600	52,000,000	3,115	62,300,000	1.50
28	東証一部	ニトリ	国内株式	小売業	9,000	7,410	66,690,000	6,870	61,830,000	1.49
29	東証一部	三菱商事	国内株式	卸売業	27,000	1,963	53,001,000	2,285	61,695,000	1.48
30	東証一部	富士フイルムHLDS	国内株式	化学	20,500	2,743	56,231,500	2,965	60,782,500	1.46

(注1) 評価額組入上位30銘柄について記載しています。

(注2) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の時価の比率です。

b．種類別投資比率

平成23年1月31日現在

資産の種類	投資比率（％）
株式	98.45
合計	98.45

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する種類別の時価の比率です。

c．業種別投資比率

平成23年1月31日現在

業種	評価金額（円）	投資比率（％）
電気機器	692,900,800	16.65
輸送用機器	477,165,000	11.47
情報・通信業	336,465,000	8.09
銀行業	288,700,000	6.94
化学	257,642,500	6.19
サービス業	216,061,000	5.19
保険業	155,595,000	3.74
卸売業	155,535,000	3.74
機械	146,241,000	3.51
不動産業	143,232,000	3.44
その他製品	135,264,000	3.25
陸運業	116,188,000	2.79
鉄鋼	103,845,000	2.50
医薬品	99,640,000	2.39
食料品	98,013,000	2.36
小売業	91,302,300	2.19
ガラス・土石製品	90,168,000	2.17
非鉄金属	89,400,000	2.15
精密機器	80,500,000	1.93
その他金融業	76,950,000	1.85
石油・石炭製品	72,150,000	1.73
繊維製品	68,000,000	1.63
証券,商品先物取引業	49,900,000	1.20
海運業	41,730,000	1.00
金属製品	13,761,000	0.33
合計	4,096,348,600	98.45

（注）投資比率はファンドの純資産総額に対する各業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

<参考> 損保ジャパン - TCW外国株式マザーファンド

投資有価証券の主要銘柄

a . 評価額上位30銘柄

平成23年 1月31日現在

順位	種類	通貨	国/地域	銘柄名	業種	保有数量 (株)	簿価 単価 (円)	簿価金額 (円)	評価 単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェア	5,285	20,816	110,010,807	27,600	145,864,872	2.61
2	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	JP MORGAN CHASE & CO	各種金融	32,453	3,316	107,626,619	3,658	118,715,352	2.12
3	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	WELLS FARGO COMPANY	銀行	39,754	2,275	90,454,709	2,615	103,957,473	1.86
4	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	GOLDMAN SACHS GROUP INC	各種金融	7,675	12,063	92,586,600	13,286	101,971,356	1.82
5	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	SCHLUMBERGER LTD	エネルギー	13,030	4,980	64,882,899	7,118	92,750,239	1.66
6	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	HALLIBURTON CO	エネルギー	24,275	2,544	61,751,446	3,604	87,483,808	1.56
7	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	CAMERON INTERNATIONAL CORP	エネルギー	19,925	2,889	57,562,266	4,310	85,880,384	1.53
8	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	GOOGLE INC-CL A	ソフトウェア・サービス	1,685	40,370	68,023,374	49,359	83,170,435	1.49
9	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	QUALCOMM INC	テクノロジー・ハードウェア	17,085	3,044	52,000,870	4,412	75,379,423	1.35
10	外国株式	イギリス・ポンド	イギリス	HSBC HOLDINGS PLC	銀行	83,936	856	71,863,594	891	74,774,915	1.34
11	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	EXPRESS SCRIPTS INC	ヘルスケア機器・サービス	16,000	3,946	63,143,063	4,612	73,798,733	1.32
12	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	C.H. ROBINSON WORLDWIDE INC	運輸	11,805	4,847	57,223,352	6,244	73,714,480	1.32
13	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	CVS/CAREMARK CORP	食品・生活必需品小売り	25,705	2,520	64,768,401	2,858	73,468,077	1.31
14	外国株式	ユーロ	イタリア	TERNA SPA	公益事業	197,848	347	68,742,760	354	70,109,764	1.25
15	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	AIR PRODUCTS & CHEMICALS	素材	9,650	5,841	56,370,331	7,044	67,977,399	1.21
16	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	ROCKWELL AUTOMATION INC	資本財	10,210	4,333	44,235,298	6,598	67,368,890	1.20
17	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	TEVA PHARMACEUTICAL-SP ADR	医薬品・バイオテクノロジー	14,340	4,454	63,875,269	4,501	64,540,382	1.15
18	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	エネルギー	7,815	6,729	52,586,053	7,705	60,211,569	1.08
19	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	CARNIVAL CORP	消費者サービス	15,425	2,751	42,440,480	3,664	56,514,413	1.01
20	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	PRAXAIR INC	素材	7,495	6,820	51,113,817	7,463	55,936,332	1.00
21	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	DOW CHEMICAL	素材	18,950	2,115	40,072,925	2,879	54,566,104	0.97
22	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	AMERICAN TOWER CORP-CL A	電気通信サービス	12,820	3,789	48,571,651	4,215	54,035,167	0.97
23	外国株式	スイス・フラン	スイス	NOVARTIS AG-REG SHS	医薬品・バイオテクノロジー	11,714	4,712	55,192,805	4,606	53,957,870	0.96
24	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	SPX CORP	資本財	8,400	4,543	38,157,081	6,276	52,714,648	0.94
25	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	FMC TECHNOLOGIES INC	エネルギー	6,910	5,170	35,722,032	7,543	52,120,881	0.93
26	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	CITIGROUP INC	各種金融	131,950	360	47,537,576	388	51,150,893	0.91
27	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	ACE LTD	保険	10,155	4,544	46,143,152	5,024	51,017,624	0.91
28	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	MEDCO HEALTH SOLUTIONS INC	ヘルスケア機器・サービス	9,700	4,415	42,825,979	5,047	48,954,818	0.87
29	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	T ROWE PRICE GROUP INC	各種金融	8,820	4,096	36,127,229	5,408	47,700,858	0.85
30	外国株式	アメリカ・ドル	アメリカ	HONEYWELL INTERNATIONAL I	資本財	10,300	3,434	35,372,409	4,543	46,797,345	0.84

(注1) 外貨建証券の評価金額は、平成23年 1月31日現在のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

(注2) 評価額組入上位30銘柄について記載しています。

(注3) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の時価の比率です。

b．種類別投資比率

平成23年1月31日現在

資産の種類	投資比率（％）
株式	96.54
合計	96.54

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する種類別の時価の比率です。

c．業種別投資比率

平成23年1月31日現在

業種	評価金額（円）	投資比率（％）
エネルギー	713,274,234	12.74
各種金融	527,842,929	9.43
素材	519,390,115	9.28
資本財	477,743,991	8.53
テクノロジー・ハードウェア	421,558,772	7.53
ソフトウェア・サービス	332,541,910	5.94
医薬品・バイオテクノロジー	324,044,790	5.79
銀行	273,871,784	4.89
ヘルスケア機器・サービス	251,100,242	4.48
食品・飲料・たばこ	213,076,748	3.81
運輸	208,434,253	3.72
小売り	181,033,986	3.23
食品・生活必需品小売り	178,341,581	3.19
保険	145,451,013	2.60
耐久消費財・アパレル	136,613,432	2.44
電気通信サービス	136,227,776	2.43
公益事業	100,800,178	1.80
消費者サービス	82,880,848	1.48
自動車・自動車部品	63,334,278	1.13
半導体・半導体製造装置	58,144,810	1.04
商業・専門サービス	40,013,869	0.71
メディア	10,216,675	0.18
家庭用品・パーソナル用品	9,728,216	0.17
合計	5,405,666,430	96.54

（注）投資比率はファンドの純資産総額に対する各業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

<参考> 損保ジャパン日本債券マザーファンド

投資有価証券の主要銘柄

a . 評価額上位30銘柄

平成23年1月31日現在

順位	発行地	銘柄名	種類	額面	通貨	簿価 単価 (円)	簿価金額 (円)	評価 単価 (円)	評価金額 (円)	利率 (%)	償還日	投資 比率 (%)
1	日本	274 10年国債	国債証券	430,000,000	円	105.63	454,190,500	104.92	451,149,550	1.50	2015/12/20	4.43
2	日本	309 10年国債	国債証券	400,000,000	円	100.97	403,877,100	99.58	398,306,000	1.10	2020/6/20	3.91
3	日本	302 10年国債	国債証券	370,000,000	円	103.97	384,699,060	103.17	381,743,060	1.40	2019/6/20	3.75
4	日本	121 20年国債	国債証券	360,000,000	円	99.01	356,428,800	98.59	354,924,360	1.90	2030/9/20	3.49
5	日本	238 10年国債	国債証券	240,000,000	円	102.09	245,009,600	101.41	243,388,560	1.40	2012/3/20	2.39
6	日本	296 10年国債	国債証券	230,000,000	円	105.30	242,190,800	104.51	240,374,610	1.50	2018/9/20	2.36
7	日本	236 10年国債	国債証券	220,000,000	円	101.95	224,290,000	101.20	222,644,400	1.50	2011/12/20	2.19
8	日本	295 10年国債	国債証券	210,000,000	円	105.92	222,434,040	104.73	219,941,610	1.50	2018/6/20	2.16
9	日本	288 10年国債	国債証券	200,000,000	円	107.58	215,150,800	106.41	212,817,000	1.70	2017/9/20	2.09
10	日本	247 10年国債	国債証券	210,000,000	円	101.59	213,349,140	101.27	212,674,140	0.80	2013/3/20	2.09
11	日本	851 政保公営企業	特殊債券	200,000,000	円	104.45	208,907,200	103.53	207,055,600	1.30	2015/5/25	2.03
12	日本	272 10年国債	国債証券	190,000,000	円	105.22	199,921,700	104.27	198,106,350	1.40	2015/9/20	1.95
13	日本	66 20年国債	国債証券	180,000,000	円	104.64	188,353,620	103.46	186,233,040	1.80	2023/12/20	1.83
14	日本	243 10年国債	国債証券	180,000,000	円	102.09	183,761,640	101.50	182,700,540	1.10	2012/9/20	1.80
15	日本	92 20年国債	国債証券	160,000,000	円	105.70	169,117,440	104.09	166,546,560	2.10	2026/12/20	1.64
16	日本	98 20年国債	国債証券	150,000,000	円	104.92	157,373,900	103.58	155,363,100	2.10	2027/9/20	1.53
17	日本	258 10年国債	国債証券	150,000,000	円	104.01	156,015,000	103.10	154,653,450	1.30	2014/3/20	1.52
18	日本	311 10年国債	国債証券	160,000,000	円	96.67	154,664,600	96.55	154,472,320	0.80	2020/9/20	1.52
19	日本	588 東京都公債	地方債証券	150,000,000	円	102.31	153,458,400	101.69	152,540,100	1.30	2012/8/24	1.50
20	日本	282 10年国債	国債証券	140,000,000	円	107.13	149,981,600	106.29	148,800,540	1.70	2016/9/20	1.46
21	日本	280 10年国債	国債証券	130,000,000	円	108.31	140,802,000	107.28	139,468,030	1.90	2016/6/20	1.37
22	日本	19 30年国債	国債証券	130,000,000	円	108.23	140,701,340	103.90	135,063,890	2.30	2035/6/20	1.33
23	日本	253 10年国債	国債証券	130,000,000	円	103.61	134,693,700	103.56	134,630,470	1.60	2013/9/20	1.32
24	日本	117 20年国債	国債証券	130,000,000	円	106.07	137,890,400	102.09	132,717,000	2.10	2030/3/20	1.30
25	日本	29 30年国債	国債証券	120,000,000	円	110.60	132,718,080	105.62	126,738,480	2.40	2038/9/20	1.25
26	日本	32 30年国債	国債証券	120,000,000	円	108.26	129,913,140	103.80	124,562,880	2.30	2040/3/20	1.22
27	日本	286 10年国債	国債証券	110,000,000	円	107.20	117,923,400	107.05	117,753,460	1.80	2017/6/20	1.16
28	日本	73 20年国債	国債証券	110,000,000	円	105.91	116,505,460	104.90	115,392,090	2.00	2024/12/20	1.13
29	日本	24 公営企業	地方債証券	100,000,000	円	108.60	108,602,400	107.34	107,336,200	1.94	2016/12/20	1.05
30	日本	64 三菱商事	社債券	100,000,000	円	108.15	108,153,800	107.10	107,102,800	2.00	2016/9/20	1.05

(注1) 評価額組入上位30銘柄について記載しています。

(注2) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の時価の比率です。

b. 種類別投資比率

平成23年1月31日現在

資産の種類	投資比率（％）
国債証券	61.86
社債券	20.17
特殊債券	11.26
地方債証券	5.88
合計	99.17

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する種類別の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

<参考> 損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

投資有価証券の主要銘柄

a . 評価額上位30銘柄

平成23年 1月31日現在

順位	発行地	銘柄名	種類	額面	通貨	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	利率 (%)	償還日	投資比率 (%)
1	ドイツ	DEUTSCHLAND REP 6.0	国債証券	658,000	ユーロ	13,643	89,769,361	13,063	85,953,450	6.00	2016/6/20	2.02
2	アメリカ	US TREASURY N/B 3.125	国債証券	950,000	アメリカ・ドル	8,735	82,985,014	8,718	82,820,385	3.13	2013/8/31	1.95
3	アメリカ	US TREASURY N/B 3.125	国債証券	875,000	アメリカ・ドル	8,585	75,114,527	8,604	75,288,058	3.13	2016/10/31	1.77
4	アメリカ	US TREASURY N/B 4.75	国債証券	785,000	アメリカ・ドル	9,460	74,263,420	9,344	73,346,628	4.75	2017/8/15	1.72
5	ドイツ	BUNDESREPUB.DEU TSCHLAND 13/7	国債証券	572,000	ユーロ	12,057	68,968,623	11,744	67,176,608	3.75	2013/7/4	1.58
6	アメリカ	US TREASURY N/B 1.75	国債証券	750,000	アメリカ・ドル	8,393	62,944,637	8,416	63,117,726	1.75	2013/4/15	1.48
7	イタリア	BTPS 4.25%	国債証券	537,000	ユーロ	11,803	63,383,205	11,455	61,510,849	4.25	2014/8/1	1.45
8	フランス	FRANCE (GOVT OF) 5.0% 10/25/16	国債証券	490,000	ユーロ	12,934	63,378,966	12,427	60,893,356	5.00	2016/10/25	1.43
9	ドイツ	DEUTSCHLAND REP 4.5	国債証券	508,000	ユーロ	12,151	61,725,848	11,823	60,062,899	4.50	2013/1/4	1.41
10	フランス	FRANCE O.A.T. 4.0	国債証券	505,000	ユーロ	12,171	61,463,906	11,856	59,874,468	4.00	2014/4/25	1.41
11	アメリカ	US TREASURY N/B 2.125	国債証券	700,000	アメリカ・ドル	8,427	58,986,644	8,458	59,206,531	2.13	2014/11/30	1.39
12	アメリカ	US TREASURY N/B	国債証券	595,000	アメリカ・ドル	8,834	52,562,699	8,730	51,944,038	4.00	2012/11/15	1.22
13	ドイツ	DEUTSCHLAND REP 4.0	国債証券	420,000	ユーロ	12,439	52,243,056	11,992	50,368,477	4.00	2018/1/4	1.18
14	スペイン	SPANISH GOVT 4.2	国債証券	435,000	ユーロ	11,597	50,448,010	11,311	49,200,925	4.20	2013/7/30	1.16
15	アメリカ	US TREASURY N/B 1.375	国債証券	590,000	アメリカ・ドル	8,335	49,175,797	8,337	49,190,819	1.38	2012/9/15	1.16
16	イタリア	BTPS 3.75	国債証券	473,000	ユーロ	10,863	51,379,708	10,332	48,869,119	3.75	2021/8/1	1.15
17	ベルギー	BELGIAN 0309 4.0	国債証券	425,000	ユーロ	12,027	51,113,250	11,278	47,932,310	4.00	2017/3/28	1.13
18	アメリカ	US TREASURY N/B 1.125	国債証券	565,000	アメリカ・ドル	8,241	46,562,614	8,298	46,881,870	1.13	2013/6/15	1.10
19	アメリカ	US TREASURY N/B 1.875	国債証券	562,000	アメリカ・ドル	8,245	46,336,640	8,296	46,625,554	1.88	2015/6/30	1.10
20	アメリカ	US TREASURY N/B 8.125% 08/15/19	国債証券	405,000	アメリカ・ドル	11,630	47,102,906	11,453	46,385,763	8.13	2019/8/15	1.09
21	フランス	FRANCE O.A.T. 4.25	国債証券	385,000	ユーロ	12,418	47,809,115	11,941	45,971,294	4.25	2018/10/25	1.08
22	ドイツ	BUNDES REPUB12/01/04	国債証券	392,000	ユーロ	11,842	46,419,938	11,575	45,374,287	5.00	2012/1/4	1.07
23	イタリア	BTPS 3.5	国債証券	405,000	ユーロ	11,497	46,563,642	11,198	45,351,217	3.50	2014/6/1	1.07
24	アメリカ	US TREASURY N/B 3.875	国債証券	510,000	アメリカ・ドル	9,098	46,400,391	8,853	45,151,756	3.88	2018/5/15	1.06
25	アメリカ	US TREASURY N/B 4.875	国債証券	510,000	アメリカ・ドル	8,906	45,420,247	8,735	44,546,499	4.88	2012/6/30	1.05
26	イタリア	BTPS 3.75	国債証券	390,000	ユーロ	11,520	44,929,498	11,078	43,205,794	3.75	2016/8/1	1.02
27	アメリカ	US TREASURY N/B 4.0	国債証券	465,000	アメリカ・ドル	9,048	42,074,801	9,047	42,069,072	4.00	2015/2/15	0.99
28	イタリア	BTPS 4.25	国債証券	387,000	ユーロ	10,990	42,530,210	10,861	42,031,176	4.25	2020/3/1	0.99
29	スペイン	SPANISH GOVT 5.5	国債証券	360,000	ユーロ	12,148	43,734,401	11,523	41,483,428	5.50	2017/7/30	0.97
30	アメリカ	US TREASURY N/B 4.5	国債証券	500,000	アメリカ・ドル	8,946	44,730,372	8,293	41,462,509	4.50	2036/2/15	0.97

(注1) 外貨建証券の評価金額は、平成23年 1月31日現在のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

(注2) 評価額組入上位30銘柄について記載しています。

(注3) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の時価の比率です。

b. 種類別投資比率

平成23年1月31日現在

資産の種類	投資比率（％）
国債証券	95.64
社債券	0.58
合計	96.22

（注）投資比率はファンドの純資産総額に対する種類別の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

（3）運用実績

純資産の推移

平成23年1月31日及び同日前1年以内における各月末の純資産の推移は以下のとおりです。

ハッピーエイジング20

	1万口当たり純資産額		ファンドの純資産総額	
	分配落ち （円）	分配付き （円）	分配落ち （円）	分配付き （円）
第1期末（平成13年7月16日）	8,836	8,836	11,393,654	11,393,654
第2期末（平成14年7月15日）	7,230	7,230	28,068,136	28,068,136
第3期末（平成15年7月15日）	7,435	7,435	111,001,725	111,001,725
第4期末（平成16年7月15日）	8,219	8,219	335,406,027	335,406,027
第5期末（平成17年7月15日）	8,968	8,968	831,748,653	831,748,653
第6期末（平成18年7月18日）	10,307	10,307	2,487,200,165	2,487,200,165
第7期末（平成19年7月17日）	12,954	12,954	4,128,875,931	4,128,875,931
第8期末（平成20年7月15日）	9,762	9,762	3,697,836,473	3,697,836,473
第9期末（平成21年7月15日）	6,639	6,639	3,183,815,124	3,183,815,124
第10期末（平成22年7月15日）	6,954	6,954	3,719,447,117	3,719,447,117
平成22年2月末	7,176	-	3,731,012,295	-
3月末	7,879	-	4,159,323,528	-
4月末	8,018	-	4,257,991,263	-
5月末	7,105	-	3,713,581,439	-
6月末	6,734	-	3,587,947,870	-
7月末	6,911	-	3,735,926,213	-
8月末	6,525	-	3,573,913,011	-
9月末	6,930	-	3,843,812,907	-
10月末	6,833	-	3,815,900,798	-
11月末	7,155	-	3,986,616,455	-
12月末	7,392	-	4,118,165,749	-
平成23年1月31日	7,458	-	4,240,973,238	-

ハッピーエイジング30

	1万口当たり純資産額		ファンドの純資産総額	
	分配落ち (円)	分配付き (円)	分配落ち (円)	分配付き (円)
第1期末 (平成13年7月16日)	9,136	9,136	103,920,109	103,920,109
第2期末 (平成14年7月15日)	7,872	7,872	112,249,559	112,249,559
第3期末 (平成15年7月15日)	8,087	8,087	101,740,494	101,740,494
第4期末 (平成16年7月15日)	8,706	8,706	365,663,747	365,663,747
第5期末 (平成17年7月15日)	9,400	9,400	872,905,727	872,905,727
第6期末 (平成18年7月18日)	10,513	10,513	2,543,516,633	2,543,516,633
第7期末 (平成19年7月17日)	12,794	12,794	4,607,956,609	4,607,956,609
第8期末 (平成20年7月15日)	10,294	10,294	4,587,555,192	4,587,555,192
第9期末 (平成21年7月15日)	7,546	7,546	4,078,471,431	4,078,471,431
第10期末 (平成22年7月15日)	7,782	7,782	4,610,678,881	4,610,678,881
平成22年2月末	7,970	-	4,632,153,889	-
3月末	8,620	-	5,073,788,387	-
4月末	8,758	-	5,192,581,648	-
5月末	7,917	-	4,642,713,665	-
6月末	7,579	-	4,472,990,201	-
7月末	7,744	-	4,632,941,921	-
8月末	7,391	-	4,448,232,550	-
9月末	7,763	-	4,720,831,487	-
10月末	7,640	-	4,657,259,672	-
11月末	7,917	-	4,856,932,071	-
12月末	8,080	-	4,960,067,953	-
平成23年1月31日	8,152	-	5,121,809,142	-

ハッピーエイジング40

	1万口当たり純資産額		ファンドの純資産総額	
	分配落ち (円)	分配付き (円)	分配落ち (円)	分配付き (円)
第1期末 (平成13年7月16日)	9,473	9,473	10,985,133	10,985,133
第2期末 (平成14年7月15日)	8,581	8,581	59,395,685	59,395,685
第3期末 (平成15年7月15日)	8,843	8,843	167,240,249	167,240,249
第4期末 (平成16年7月15日)	9,240	9,240	485,588,096	485,588,096
第5期末 (平成17年7月15日)	9,870	9,870	1,283,641,466	1,283,641,466
第6期末 (平成18年7月18日)	10,637	10,637	3,872,160,919	3,872,160,919
第7期末 (平成19年7月17日)	12,301	12,301	6,161,451,470	6,161,451,470
第8期末 (平成20年7月15日)	10,625	10,625	6,505,406,524	6,505,406,524
第9期末 (平成21年7月15日)	8,617	8,617	5,927,975,456	5,927,975,456
第10期末 (平成22年7月15日)	8,909	8,909	6,550,967,753	6,550,967,753
平成22年2月末	8,994	-	6,513,274,078	-
3月末	9,515	-	6,954,288,661	-

	1万口当たり純資産額		ファンドの純資産総額	
	分配落ち (円)	分配付き (円)	分配落ち (円)	分配付き (円)
4月末	9,645	-	7,080,571,663	-
5月末	8,988	-	6,494,069,707	-
6月末	8,735	-	6,334,993,988	-
7月末	8,883	-	6,569,881,295	-
8月末	8,608	-	6,395,469,370	-
9月末	8,923	-	6,710,535,590	-
10月末	8,814	-	6,683,291,942	-
11月末	9,011	-	6,849,428,524	-
12月末	9,154	-	6,970,088,856	-
平成23年1月31日	9,193	-	7,168,764,742	-

ハッピーエイジング50

	1万口当たり純資産額		ファンドの純資産総額	
	分配落ち (円)	分配付き (円)	分配落ち (円)	分配付き (円)
第1期末 (平成13年7月16日)	9,788	9,788	3,267,562	3,267,562
第2期末 (平成14年7月15日)	9,294	9,294	25,737,773	25,737,773
第3期末 (平成15年7月15日)	9,540	9,540	83,030,474	83,030,474
第4期末 (平成16年7月15日)	9,726	9,726	246,787,012	246,787,012
第5期末 (平成17年7月15日)	10,258	10,258	710,074,576	710,074,576
第6期末 (平成18年7月18日)	10,637	10,637	1,956,798,569	1,956,798,569
第7期末 (平成19年7月17日)	11,662	11,662	2,866,331,796	2,866,331,796
第8期末 (平成20年7月15日)	10,787	10,787	3,118,721,807	3,118,721,807
第9期末 (平成21年7月15日)	9,621	9,621	3,057,510,606	3,057,510,606
第10期末 (平成22年7月15日)	9,927	9,927	3,309,494,331	3,309,494,331
平成22年2月末	9,929	-	3,284,867,304	-
3月末	10,268	-	3,425,180,331	-
4月末	10,380	-	3,486,261,231	-
5月末	9,949	-	3,245,798,465	-
6月末	9,805	-	3,204,549,765	-
7月末	9,913	-	3,325,049,023	-
8月末	9,741	-	3,275,757,364	-
9月末	9,962	-	3,407,066,897	-
10月末	9,871	-	3,410,082,134	-
11月末	9,964	-	3,439,136,853	-
12月末	10,073	-	3,458,643,485	-
平成23年1月31日	10,079	-	3,614,638,418	-

ハッピーエイジング60

	1万口当たり純資産額		ファンドの純資産総額	
	分配落ち (円)	分配付き (円)	分配落ち (円)	分配付き (円)
第1期末 (平成13年7月16日)	10,105	10,105	5,817,431	5,817,431
第2期末 (平成14年7月15日)	10,029	10,029	23,524,336	23,524,336
第3期末 (平成15年7月15日)	10,208	10,208	91,146,722	91,146,722
第4期末 (平成16年7月15日)	10,108	10,108	222,463,829	222,463,829
第5期末 (平成17年7月15日)	10,504	10,504	501,246,791	501,246,791
第6期末 (平成18年7月18日)	10,465	10,465	1,033,316,911	1,033,316,911
第7期末 (平成19年7月17日)	10,836	10,836	1,323,548,224	1,323,548,224
第8期末 (平成20年7月15日)	10,701	10,701	1,650,255,654	1,650,255,654
第9期末 (平成21年7月15日)	10,407	10,407	1,794,974,977	1,794,974,977
第10期末 (平成22年7月15日)	10,676	10,676	1,977,963,799	1,977,963,799
平成22年2月末	10,588	-	1,931,635,983	-
3月末	10,701	-	1,973,811,899	-
4月末	10,790	-	2,000,665,480	-
5月末	10,634	-	1,949,331,555	-
6月末	10,621	-	1,949,106,073	-
7月末	10,676	-	1,995,306,022	-
8月末	10,636	-	1,999,482,007	-
9月末	10,736	-	2,044,150,454	-
10月末	10,674	-	2,059,890,182	-
11月末	10,637	-	2,072,673,794	-
12月末	10,707	-	2,077,081,332	-
平成23年1月31日	10,677	-	2,115,604,651	-

[次へ](#)

分配の推移

ハッピーエイジング20

	期間	1万口当たりの分配金(円)
第1期	自 平成12年7月31日 至 平成13年7月16日	0
第2期	自 平成13年7月17日 至 平成14年7月15日	0
第3期	自 平成14年7月16日 至 平成15年7月15日	0
第4期	自 平成15年7月16日 至 平成16年7月15日	0
第5期	自 平成16年7月16日 至 平成17年7月15日	0
第6期	自 平成17年7月16日 至 平成18年7月18日	0
第7期	自 平成18年7月19日 至 平成19年7月17日	0
第8期	自 平成19年7月18日 至 平成20年7月15日	0
第9期	自 平成20年7月16日 至 平成21年7月15日	0
第10期	自 平成21年7月16日 至 平成22年7月15日	0

ハッピーエイジング30

	期間	1万口当たりの分配金(円)
第1期	自 平成12年7月31日 至 平成13年7月16日	0
第2期	自 平成13年7月17日 至 平成14年7月15日	0
第3期	自 平成14年7月16日 至 平成15年7月15日	0
第4期	自 平成15年7月16日 至 平成16年7月15日	0
第5期	自 平成16年7月16日 至 平成17年7月15日	0
第6期	自 平成17年7月16日 至 平成18年7月18日	0
第7期	自 平成18年7月19日 至 平成19年7月17日	0
第8期	自 平成19年7月18日 至 平成20年7月15日	0
第9期	自 平成20年7月16日 至 平成21年7月15日	0
第10期	自 平成21年7月16日 至 平成22年7月15日	0

ハッピーエイジング40

	期間	1万口当たりの分配金(円)
第1期	自 平成12年7月31日 至 平成13年7月16日	0
第2期	自 平成13年7月17日 至 平成14年7月15日	0
第3期	自 平成14年7月16日 至 平成15年7月15日	0
第4期	自 平成15年7月16日 至 平成16年7月15日	0
第5期	自 平成16年7月16日 至 平成17年7月15日	0
第6期	自 平成17年7月16日 至 平成18年7月18日	0
第7期	自 平成18年7月19日 至 平成19年7月17日	0
第8期	自 平成19年7月18日 至 平成20年7月15日	0
第9期	自 平成20年7月16日 至 平成21年7月15日	0
第10期	自 平成21年7月16日 至 平成22年7月15日	0

ハッピーエイジング50

	期間	1万口当たりの分配金(円)
第1期	自 平成12年7月31日 至 平成13年7月16日	0
第2期	自 平成13年7月17日 至 平成14年7月15日	0
第3期	自 平成14年7月16日 至 平成15年7月15日	0
第4期	自 平成15年7月16日 至 平成16年7月15日	0
第5期	自 平成16年7月16日 至 平成17年7月15日	0
第6期	自 平成17年7月16日 至 平成18年7月18日	0
第7期	自 平成18年7月19日 至 平成19年7月17日	0
第8期	自 平成19年7月18日 至 平成20年7月15日	0
第9期	自 平成20年7月16日 至 平成21年7月15日	0
第10期	自 平成21年7月16日 至 平成22年7月15日	0

ハッピーエイジング60

	期間	1万口当たりの分配金(円)
第1期	自 平成12年7月31日 至 平成13年7月16日	0
第2期	自 平成13年7月17日 至 平成14年7月15日	0
第3期	自 平成14年7月16日 至 平成15年7月15日	0
第4期	自 平成15年7月16日 至 平成16年7月15日	0
第5期	自 平成16年7月16日 至 平成17年7月15日	0
第6期	自 平成17年7月16日 至 平成18年7月18日	0
第7期	自 平成18年7月19日 至 平成19年7月17日	0
第8期	自 平成19年7月18日 至 平成20年7月15日	0
第9期	自 平成20年7月16日 至 平成21年7月15日	0
第10期	自 平成21年7月16日 至 平成22年7月15日	0

収益率の推移

ハッピーエイジング20

	収益率(%)
第1期	11.64
第2期	18.18
第3期	2.84
第4期	10.54
第5期	9.11
第6期	14.93
第7期	25.68
第8期	24.64
第9期	31.99
第10期	4.74
第11期中	9.75

ハッピーエイジング30

	収益率(%)
第1期	8.64
第2期	13.84
第3期	2.73
第4期	7.65
第5期	7.97
第6期	11.84

	収益率（％）
第7期	21.70
第8期	19.54
第9期	26.70
第10期	3.13
第11期中	6.76

ハッピーエイジング40

	収益率（％）
第1期	5.27
第2期	9.42
第3期	3.05
第4期	4.49
第5期	6.82
第6期	7.77
第7期	15.64
第8期	13.62
第9期	18.90
第10期	3.39
第11期中	4.64

ハッピーエイジング50

	収益率（％）
第1期	2.12
第2期	5.05
第3期	2.65
第4期	1.95
第5期	5.47
第6期	3.69
第7期	9.64
第8期	7.50
第9期	10.81
第10期	3.18
第11期中	2.39

ハッピーエイジング60

	収益率（％）
第1期	1.05
第2期	0.75
第3期	1.78
第4期	0.98
第5期	3.92
第6期	0.37

	収益率（％）
第7期	3.55
第8期	1.25
第9期	2.75
第10期	2.58
第11期中	0.25

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ちの額、以下「前期末基準価額」）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数です。

（４）設定及び解約の実績

当ファンドの設定日（平成12年7月31日）から第11期中（平成23年1月15日）までの設定及び解約の実績は次のとおりです。

ハッピーエイジング20

	設定口数（口）	解約口数（口）
第1期	13,754,505	859,717
第2期	30,232,816	4,307,205
第3期	120,076,091	9,598,682
第4期	290,503,900	31,705,904
第5期	580,661,199	61,329,680
第6期	1,736,164,573	250,575,641
第7期	1,080,299,931	306,068,974
第8期	1,018,970,950	418,381,330
第9期	1,479,340,785	471,208,841
第10期	1,281,906,649	729,114,257
第11期中	565,527,164	283,834,760

ハッピーエイジング30

	設定口数（口）	解約口数（口）
第1期	114,285,101	535,526
第2期	30,628,448	1,779,684
第3期	98,075,763	114,872,024
第4期	307,760,791	13,529,389
第5期	550,852,464	42,230,848
第6期	1,744,825,572	253,983,053
第7期	1,422,618,991	240,489,638
第8期	1,227,027,693	372,033,781
第9期	1,396,839,049	448,390,635
第10期	1,119,556,593	599,737,003
第11期中	549,613,904	245,964,400

ハッピーエイジング40

	設定口数（口）	解約口数（口）
第1期	12,098,235	501,811
第2期	59,074,881	1,456,440
第3期	136,061,172	16,154,229
第4期	355,457,661	19,077,379
第5期	846,725,729	71,732,594
第6期	2,564,867,867	225,098,025
第7期	1,716,655,629	348,192,196
第8期	1,496,200,940	382,063,136
第9期	1,464,605,050	708,112,174
第10期	1,300,116,226	826,451,419
第11期中	659,567,225	263,362,727

ハッピーエイジング50

	設定口数（口）	解約口数（口）
第1期	3,368,235	29,970
第2期	24,724,806	368,942
第3期	65,691,538	6,351,580
第4期	177,165,982	10,469,335
第5期	490,967,000	52,457,835
第6期	1,270,937,045	123,495,310
第7期	784,743,529	166,603,954
第8期	668,475,571	235,028,492
第9期	632,755,183	345,929,308
第10期	600,002,968	444,226,284
第11期中	370,895,729	163,150,215

ハッピーエイジング60

	設定口数（口）	解約口数（口）
第1期	5,823,001	66,074
第2期	18,855,393	1,155,265
第3期	71,115,404	5,280,627
第4期	149,027,997	18,235,313
第5期	294,966,175	37,865,518
第6期	620,505,740	110,308,158
第7期	413,005,730	178,957,589
第8期	458,481,130	137,709,650
第9期	400,300,646	217,665,541
第10期	339,805,218	211,886,769
第11期中	199,603,121	84,460,782

（注1）設定口数には、当初募集期間の設定口数を含みます。

（注2）本邦外における設定及び解約はありません。

<参考情報>

◆ハッピーエイジング20

(基準日:2011年1月31日)

基準価額・純資産の推移



- (注1)基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものととして委託会社にて計算しており、実際の騰落率とは異なります(以下同し)。
(注2)基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(純資産総額に対して1.7010%(税込み))は控除されております(以下同し)。
(注3)ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額(税引前分配金再投資)をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
(注4)分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

基準価額	7,458円
純資産総額	42.41億円

(注)基準価額は、分配控除後です。

構成比率(対純資産)

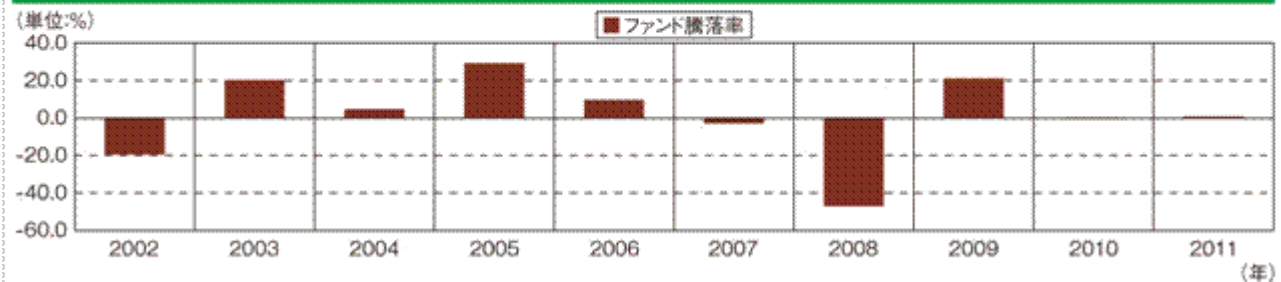
損保ジャパン-TOWNS株式マザーファンド	32.98%
損保ジャパン-DIAMI日本株アクティブマザーファンド	26.21%
損保ジャパン日本株マザーファンド	26.06%
損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド	6.08%
VANGUARD EMERGING MARKETS ETF	4.57%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	2.05%
コール・ローン等	2.05%
合計	100.00%

※2011年2月25日付でVANGUARD MSCI EMERGING MARKETS ETFに名称変更。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

2006年07月	0円	(注1)直近5期分の分配実績を記載しております。
2007年07月	0円	(注2)収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。
2008年07月	0円	
2009年07月	0円	
2010年07月	0円	
設定来累計	0円	

年間収益率の推移(暦年ベース)



- (注1)ファンド騰落率は、基準価額(税引前分配金再投資)を使用して算出しております。
(注2)2011年は年初から基準日までの騰落率です。

◆ハッピーエイジング30

基準価額・純資産の推移



- (注1)基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものととして委託会社にて計算しており、実際の騰落率とは異なります(以下同し)。
(注2)基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(純資産総額に対して1.5225%(税込み))は控除されております(以下同し)。
(注3)ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額(税引前分配金再投資)をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
(注4)分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

基準価額	8,152円
純資産総額	51.22億円

(注)基準価額は、分配控除後です。

構成比率(対純資産)

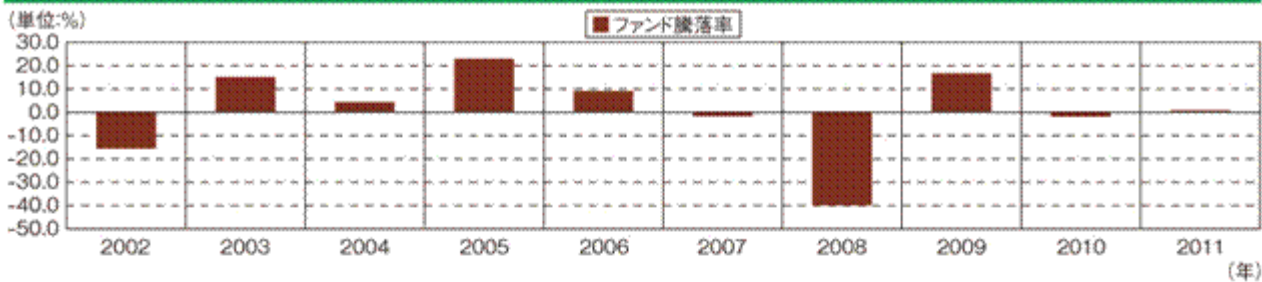
損保ジャパン-DIAMI日本株アクティブマザーファンド	22.12%
損保ジャパン日本株マザーファンド	21.96%
損保ジャパン-TOWNS株式マザーファンド	20.91%
損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド	20.19%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	8.18%
VANGUARD EMERGING MARKETS ETF	4.58%
コール・ローン等	2.06%
合計	100.00%

分配の推移(1万口当たり、税引前)

2006年07月	0円	(注1)直近5期分の分配実績を記載しております。
2007年07月	0円	(注2)収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。
2008年07月	0円	
2009年07月	0円	
2010年07月	0円	
設定来累計	0円	

※ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
※ベンチマークの情報はあくまで参考情報としての記載であり、当ファンドの運用実績ではありません。
※最新の運用実績は別途、委託会社ホームページでご確認いただけます。

年間収益率の推移(暦年ベース)



(注1)ファンド騰落率は、基準価額(税引前分配金再投資)を使用して算出しております。

(注2)2011年は年初から基準日までの騰落率です。

◆ハッピーエイジング40

基準価額・純資産の推移



(注1)基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものととして委託会社にて計算しており、実際の騰落率とは異なります(以下同じ)。

(注2)基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(純資産総額に対して1.3440%(税込み))は控除されております(以下同じ)。

(注3)ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額(税引前分配金再投資)をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

(注4)分配実績がない場合、あるいは設定累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

基準価額	9,193円
純資産総額	71.69億円

(注)基準価額は、分配控除後です。

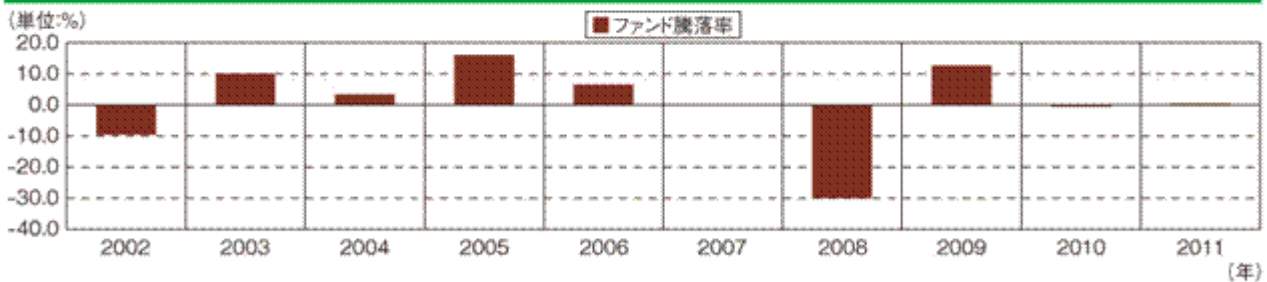
構成比率(対純資産)

損保ジャパン日本債券マザーファンド	33.54%
損保ジャパン-DIAM日本株アクティブマザーファンド	15.53%
損保ジャパン日本株マザーファンド	15.38%
損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド	15.06%
損保ジャパンTCW外国株マザーファンド	13.86%
VANGUARD EMERGING MARKETS ETF	4.59%
コール・ローン等	2.03%
合計	100.00%

分配の推移(1万口当たり、税引前)

2006年07月	0円	(注1)直近5年分の分配実績を記載しております。
2007年07月	0円	(注2)収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。
2008年07月	0円	
2009年07月	0円	
2010年07月	0円	
設定来累計	0円	

年間収益率の推移(暦年ベース)



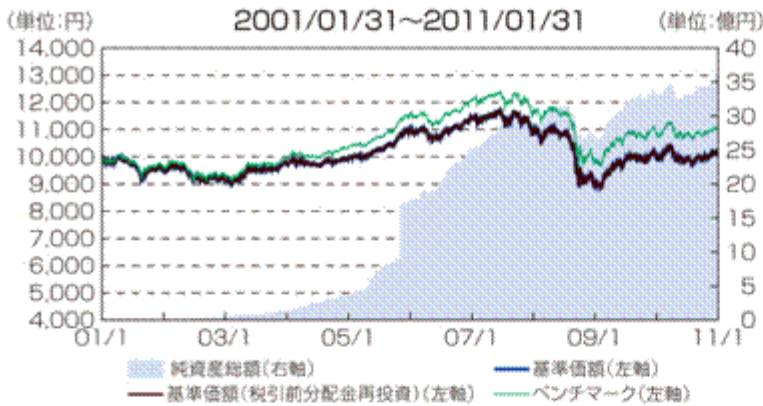
(注1)ファンド騰落率は、基準価額(税引前分配金再投資)を使用して算出しております。

(注2)2011年は年初から基準日までの騰落率です。

※ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 ※ベンチマークの情報はあくまで参考情報としての記載であり、当ファンドの運用実績ではありません。
 ※最新の運用実績は別途、委託会社ホームページでご確認いただけます。

◆ハッピーエイジング50

基準価額・純資産の推移



- (注1) 基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものととして委託会社にて計算しており、実際の騰落率とは異なります(以下同じ)。
 (注2) 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(純資産総額に対して1.1655%(税込み))は控除されております(以下同じ)。
 (注3) ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額(税引前分配金再投資)をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
 (注4) 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

基準価額	10,079円
純資産総額	36.15億円

(注) 基準価額は、分配控除後です。

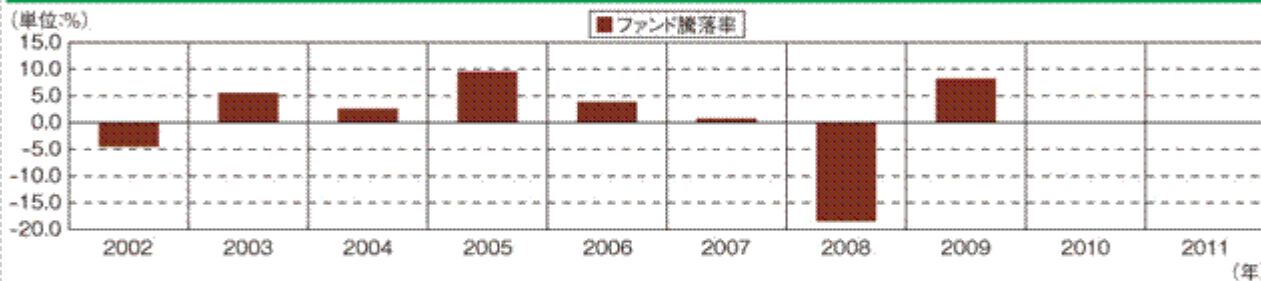
構成比率(対純資産)

損保ジャパン日本債券マザーファンド	57.58%
損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド	10.98%
損保ジャパン-DIAM日本株アクティブマザーファンド	9.45%
損保ジャパン日本株マザーファンド	9.37%
損保ジャパン-TCW外国株マザーファンド	7.87%
VANGUARD EMERGING MARKETS ETF	2.73%
コール・ローン等	2.02%
合計	100.00%

分配の推移(1万口当たり、税引前)

2006年07月	0円	(注1) 直近5期分の分配実績を記載しております。
2007年07月	0円	(注2) 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。
2008年07月	0円	
2009年07月	0円	
2010年07月	0円	
設定来累計	0円	

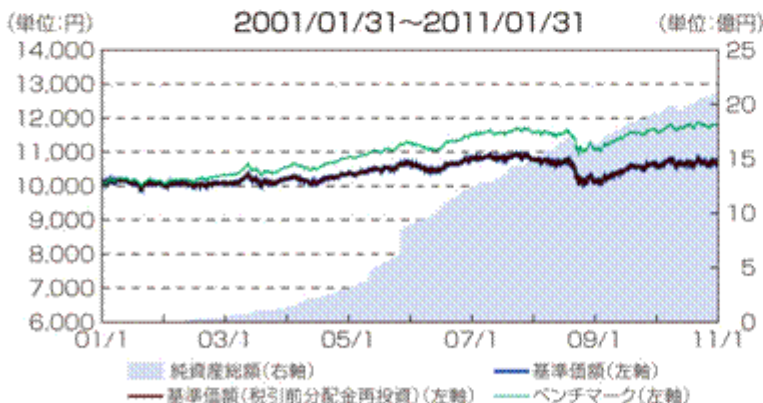
年間収益率の推移(暦年ベース)



- (注1) ファンド騰落率は、基準価額(税引前分配金再投資)を使用して算出しております。
 (注2) 2011年は年初から基準日までの騰落率です。

◆ハッピーエイジング60

基準価額・純資産の推移



- (注1) 基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものととして委託会社にて計算しており、実際の騰落率とは異なります(以下同じ)。
 (注2) 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(純資産総額に対して0.9870%(税込み))は控除されております(以下同じ)。
 (注3) ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額(税引前分配金再投資)をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
 (注4) 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

基準価額	10,677円
純資産総額	21.16億円

(注) 基準価額は、分配控除後です。

構成比率(対純資産)

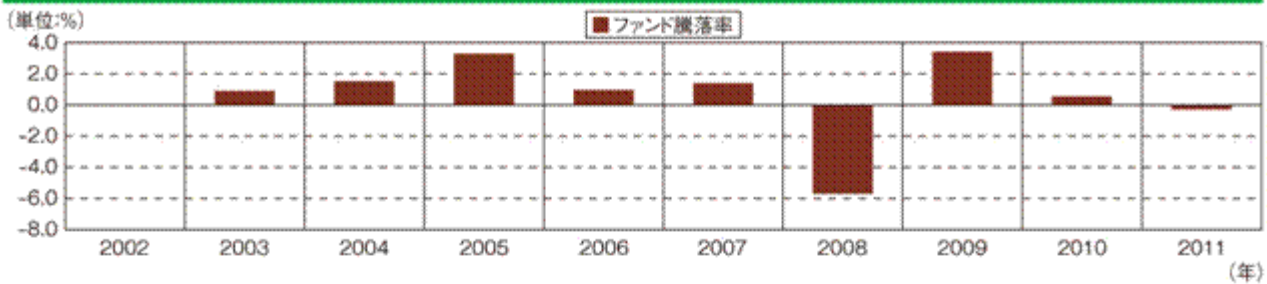
損保ジャパン日本債券マザーファンド	82.25%
損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド	5.94%
損保ジャパン-TCW外国株マザーファンド	3.91%
損保ジャパン-DIAM日本株アクティブマザーファンド	2.97%
損保ジャパン日本株マザーファンド	2.94%
コール・ローン等	1.99%
合計	100.00%

分配の推移(1万口当たり、税引前)

2006年07月	0円	(注1) 直近5期分の分配実績を記載しております。
2007年07月	0円	(注2) 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。
2008年07月	0円	
2009年07月	0円	
2010年07月	0円	
設定来累計	0円	

※ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 ※ベンチマークの情報はあくまで参考情報としての記載であり、当ファンドの運用実績ではありません。
 ※最新の運用実績は別途、委託会社ホームページでご確認いただけます。

年間収益率の推移（暦年ベース）



(注1) ファンド騰落率は、基準価額(税引前)分配金再投資を使用して算出しております。

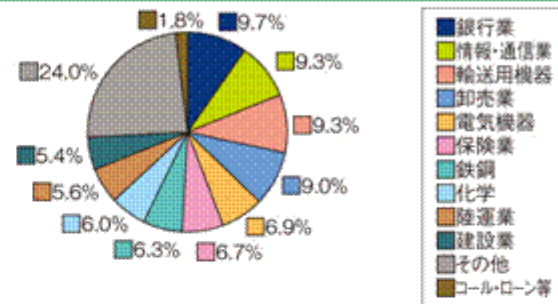
(注2) 2011年は年初から基準日までの騰落率です。

主要な資産の状況(損保ジャパン日本株マザーファンド)

構成比率(対純資産)

株式	98.15%
コール・ローン等	1.85%
合計	100.00%

業種別構成比率(対純資産)



組入上位10銘柄

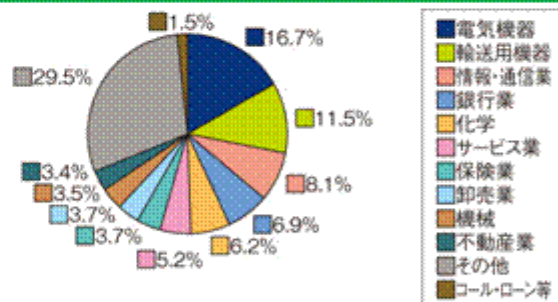
順位	銘柄名	業種	純資産比
1	本田技研	輸送用機器	4.2%
2	日本電信電話	情報・通信業	4.2%
3	住友商事	卸売業	4.0%
4	東日本旅客鉄道	陸運業	4.0%
5	新日本製鐵	鉄鋼	3.8%
6	MS & AD	保険業	3.7%
7	KDDI	情報・通信業	3.3%
8	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.1%
9	トヨタ自動車	輸送用機器	2.7%
10	みずほフィナンシャルG	銀行業	2.4%
銘柄数		98銘柄	

主要な資産の状況(損保ジャパン-DIAM日本株アクティブ・マザーファンド)

構成比率(対純資産)

株式	98.45%
コール・ローン等	1.55%
合計	100.00%

業種別構成比率(対純資産)



組入上位10銘柄

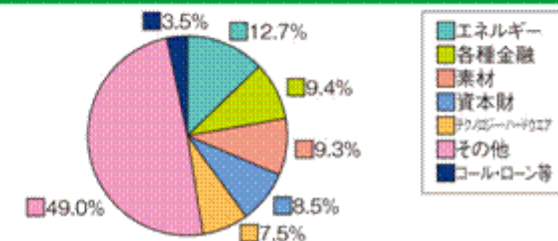
順位	銘柄名	業種	純資産比
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.1%
2	本田技研	輸送用機器	3.6%
3	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.6%
4	三井住友フィナンシャルG	銀行業	3.4%
5	キヤノン	電気機器	2.9%
6	東京海上HD	保険業	2.7%
7	ファナック	電気機器	2.3%
8	エヌティティ・コム	情報・通信業	2.3%
9	三井物産	卸売業	2.3%
10	三井不動産	不動産業	2.2%
銘柄数		66銘柄	

主要な資産の状況(損保ジャパン-TCW外国株式マザーファンド)

構成比率(対純資産)

株式	96.54%
コール・ローン等	3.46%
合計	100.00%

業種別構成比率(対純資産)



※ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 ※ベンチマークの情報はあくまで参考情報としての記載であり、当ファンドの運用実績ではありません。
 ※最新の運用実績は別途、委託会社ホームページでご確認いただけます。

組入上位10銘柄

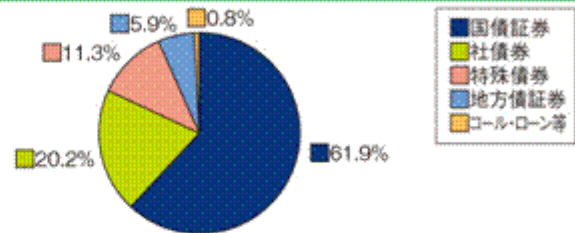
	銘柄名	通貨	発行国/地域	業種	純資産比
1	APPLE INC	アメリカドル	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.6%
2	JP MORGAN CHASE & CO	アメリカドル	アメリカ	各種金融	2.1%
3	WELLS FARGO COMPANY	アメリカドル	アメリカ	銀行	1.9%
4	GOLDMAN SACHS GROUP INC	アメリカドル	アメリカ	各種金融	1.8%
5	SCHLUMBERGER LTD	アメリカドル	アメリカ	エネルギー	1.7%
6	HALLIBURTON CO	アメリカドル	アメリカ	エネルギー	1.6%
7	CAMERON INTERNATIONAL CORP	アメリカドル	アメリカ	エネルギー	1.5%
8	GOOGLE INC-CL A	アメリカドル	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.5%
9	QUALCOMM INC	アメリカドル	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	1.4%
10	HSBC HOLDINGS PLC	イギリスポンド	イギリス	銀行	1.3%
銘柄数					217銘柄

主要な資産の状況(損保ジャパン日本債券マザーファンド)

構成比率(対純資産)

公社債	99.17%
コール・ローン等	0.83%
合計	100.00%

種類別構成比率(対純資産)



ポートフォリオの状況

平均残存期間	7.71
修正デュレーション	6.74

組入上位10銘柄

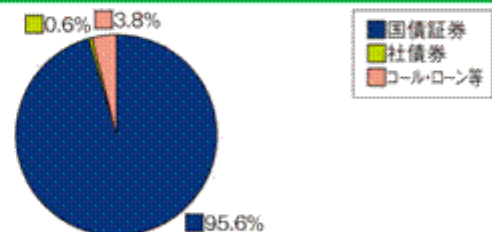
	銘柄名	種類	償還日	純資産比
1	274 10年国債	国債証券	2015/12/20	4.4%
2	309 10年国債	国債証券	2020/06/20	3.9%
3	302 10年国債	国債証券	2019/06/20	3.8%
4	121 20年国債	国債証券	2030/09/20	3.5%
5	238 10年国債	国債証券	2012/03/20	2.4%
6	296 10年国債	国債証券	2018/09/20	2.4%
7	236 10年国債	国債証券	2011/12/20	2.2%
8	295 10年国債	国債証券	2018/06/20	2.2%
9	288 10年国債	国債証券	2017/09/20	2.1%
10	247 10年国債	国債証券	2013/03/20	2.1%
銘柄数				81銘柄

主要な資産の状況(損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド)

構成比率(対純資産)

公社債	96.22%
コール・ローン等	3.78%
合計	100.00%

種類別構成比率(対純資産)



ポートフォリオの状況

平均残存期間	8.45
修正デュレーション	6.09

組入上位10銘柄

	銘柄名	発行国	種類	通貨	償還日	純資産比
1	DEUTSCHLAND REP 6.0	ドイツ	国債証券	ユーロ	2016/06/20	2.0%
2	US TREASURY N/B 3.125	アメリカ	国債証券	アメリカドル	2013/08/31	2.0%
3	US TREASURY N/B 3.125	アメリカ	国債証券	アメリカドル	2016/10/31	1.8%
4	US TREASURY N/B 4.75	アメリカ	国債証券	アメリカドル	2017/08/15	1.7%
5	BUNDESREPUB.DEUTSCHLAND 13/7	ドイツ	国債証券	ユーロ	2013/07/04	1.6%
6	US TREASURY N/B 1.75	アメリカ	国債証券	アメリカドル	2013/04/15	1.5%
7	BTFS 4.25%	イタリア	国債証券	ユーロ	2014/08/01	1.5%
8	FRANCE (GOVT OF) 5.0% 10/25/16	フランス	国債証券	ユーロ	2016/10/25	1.4%
9	DEUTSCHLAND REP 4.5	ドイツ	国債証券	ユーロ	2018/01/04	1.4%
10	FRANCE O.A.T. 4.0	フランス	国債証券	ユーロ	2014/04/25	1.4%
銘柄数					190銘柄	

※ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 ※ベンチマークの情報はあくまで参考情報としての記載であり、当ファンドの運用実績ではありません。
 ※最新の運用実績は別途、委託会社ホームページでご確認いただけます。

第3【ファンドの経理状況】

1 財務諸表

以下の内容を追加します。

<追加>

1. 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）（以下「中間財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表等規則は、平成20年8月7日付内閣府令第50号により改正されておりますが、平成21年7月16日から平成22年1月15日までの中間財務諸表については内閣府令第50号附則第4条第1項第1号により、内閣府令第50号改正前の中間財務諸表等規則に基づき作成しており、平成22年7月16日から平成23年1月15日までの中間財務諸表については内閣府令第50号改正後の中間財務諸表等規則に基づき作成しております。

なお、中間財務諸表に掲載している金額は、円単位で表示しております。

2. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、平成21年7月16日から平成22年1月15日まで及び平成22年7月16日から平成23年1月15日までの中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

[次へ](#)

ハッピーエイジング20
（1）中間貸借対照表

（単位：円）

	第10期中間計算期間末 （平成22年1月15日現在）	第11期中間計算期間末 （平成23年1月15日現在）
資産の部		
流動資産		
預金	2,162,902	11,870,855
金銭信託	-	35,678
コール・ローン	101,460,290	109,191,269
投資信託受益証券	180,096,180	205,453,808
親投資信託受益証券	3,734,454,628	4,017,902,527
未収利息	-	149
流動資産合計	4,018,174,000	4,344,454,286
資産合計	4,018,174,000	4,344,454,286
負債の部		
流動負債		
未払金	-	11,870,855
未払解約金	7,268,635	1,896,941
未払受託者報酬	1,538,277	1,645,361
未払委託者報酬	29,612,542	31,674,037
その他未払費用	84,548	90,439
流動負債合計	38,504,002	47,177,633
負債合計	38,504,002	47,177,633
純資産の部		
元本等		
元本	5,131,206,030	5,630,453,572
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	1,151,536,032	1,333,176,919
純資産合計	3,979,669,998	4,297,276,653
負債純資産合計	4,018,174,000	4,344,454,286

[次へ](#)

(2) 中間損益及び剰余金計算書

(単位 : 円)

	第10期中間計算期間 自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
営業収益		
受取配当金	2,088,350	2,935,284
受取利息	21,439	23,224
有価証券売買等損益	586,452,788	422,656,083
為替差損益	4,239,513	10,779,665
営業収益合計	584,323,064	414,834,926
営業費用		
受託者報酬	1,538,277	1,645,361
委託者報酬	29,612,542	31,674,037
その他費用	121,995	125,752
営業費用合計	31,272,814	33,445,150
営業利益	553,050,250	381,389,776
経常利益	553,050,250	381,389,776
中間純利益	553,050,250	381,389,776
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	14,565,402	3,755,050
期首剰余金又は期首欠損金 ()	1,612,153,652	1,629,314,051
剰余金増加額又は欠損金減少額	87,692,112	86,906,523
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	87,692,112	86,906,523
剰余金減少額又は欠損金増加額	165,559,340	168,404,117
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	165,559,340	168,404,117
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金 ()	1,151,536,032	1,333,176,919

[次へ](#)

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券、投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。	親投資信託受益証券、投資信託受益証券 同左
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。	同左
3. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は、投資信託受益証券の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	(1) 受取配当金の計上基準 同左 (2) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 同左
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。	外貨建取引等の処理基準 同左

（中間貸借対照表に関する注記）

	第10期中間計算期間末 （平成22年1月15日現在）	第11期中間計算期間末 （平成23年1月15日現在）
1. 中間計算期間末日における受益権の総数	5,131,206,030口	5,630,453,572口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 1,151,536,032円	元本の欠損 1,333,176,919円
3. 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 0.7756円 （1万口当たり純資産額 7,756円）	1口当たり純資産額 0.7632円 （1万口当たり純資産額 7,632円）

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第10期中間計算期間 自平成21年7月16日 至平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自平成22年7月16日 至平成23年1月15日
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額 3,691,062円	1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額 3,925,315円

（金融商品に関する注記）

	第10期中間計算期間 自平成21年7月16日 至平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自平成22年7月16日 至平成23年1月15日
金融商品の時価等に関する事項		<p>（1）中間貸借対照表計上額、時価およびその差額</p> <p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>（2）時価の算定方法</p> <p>親投資信託受益証券・投資信託受益証券</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p>

	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
		<p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p> <p>(3) 金融商品の時価等に関する事項の補足説明</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

(その他の注記)

	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額		
期首元本額	4,795,968,776円	5,348,761,168円
期中追加設定元本額	598,596,344円	565,527,164円
期中解約元本額	263,359,090円	283,834,760円

(有価証券関係)

該当事項はございません。

(デリバティブ取引等関係)

該当事項はございません。

[次へ](#)

ハッピーエイジング30
（1）中間貸借対照表

（単位：円）

	第10期中間計算期間末 （平成22年1月15日現在）	第11期中間計算期間末 （平成23年1月15日現在）
資産の部		
流動資産		
預金	2,703,987	11,079,465
金銭信託	-	6,089
コール・ローン	144,396,442	114,454,712
投資信託受益証券	225,949,588	248,571,372
親投資信託受益証券	4,602,826,335	4,850,291,437
未収利息	-	156
流動資産合計	4,975,876,352	5,224,403,231
資産合計	4,975,876,352	5,224,403,231
負債の部		
流動負債		
未払金	-	11,079,465
未払解約金	4,034,108	2,171,012
未払受託者報酬	1,930,599	2,012,249
未払委託者報酬	33,064,417	34,462,662
その他未払費用	106,131	110,624
流動負債合計	39,135,255	49,836,012
負債合計	39,135,255	49,836,012
純資産の部		
元本等		
元本	5,786,960,104	6,228,538,388
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	850,219,007	1,053,971,169
純資産合計	4,936,741,097	5,174,567,219
負債純資産合計	4,975,876,352	5,224,403,231

[次へ](#)

(2) 中間損益及び剰余金計算書

(単位 : 円)

	第10期中間計算期間 自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
営業収益		
受取配当金	2,620,053	3,601,632
受取利息	25,803	26,505
有価証券売買等損益	586,134,792	371,849,854
為替差損益	5,420,841	13,290,025
営業収益合計	583,359,807	362,187,966
営業費用		
受託者報酬	1,930,599	2,012,249
委託者報酬	33,064,417	34,462,662
その他費用	149,415	151,033
営業費用合計	35,144,431	36,625,944
営業利益	548,215,376	325,562,022
経常利益	548,215,376	325,562,022
中間純利益	548,215,376	325,562,022
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	9,368,019	411,887
期首剰余金又は期首欠損金 ()	1,326,597,863	1,314,210,003
剰余金増加額又は欠損金減少額	48,981,598	54,987,273
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	48,981,598	54,987,273
剰余金減少額又は欠損金増加額	111,450,099	119,898,574
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	111,450,099	119,898,574
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金 ()	850,219,007	1,053,971,169

[次へ](#)

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券、投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。	親投資信託受益証券、投資信託受益証券 同左
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。	同左
3. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は、投資信託受益証券の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	(1) 受取配当金の計上基準 同左 (2) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 同左
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。	外貨建取引等の処理基準 同左

(中間貸借対照表に関する注記)

	第10期中間計算期間末 (平成22年1月15日現在)	第11期中間計算期間末 (平成23年1月15日現在)
1. 中間計算期間末日における受益権の総数	5,786,960,104口	6,228,538,388口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 850,219,007円	元本の欠損 1,053,971,169円
3. 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 0.8531円 (1万口当たり純資産額 8,531円)	1口当たり純資産額 0.8308円 (1万口当たり純資産額 8,308円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第10期中間計算期間 自平成21年7月16日 至平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自平成22年7月16日 至平成23年1月15日
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額
3,248,881円	3,375,778円

(金融商品に関する注記)

	第10期中間計算期間 自平成21年7月16日 至平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自平成22年7月16日 至平成23年1月15日
金融商品の時価等に関する事項		<p>(1) 中間貸借対照表計上額、時価およびその差額</p> <p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>(2) 時価の算定方法</p> <p>親投資信託受益証券・投資信託受益証券</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p>

	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
		<p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p> <p>(3) 金融商品の時価等に関する事項の補足説明</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

(その他の注記)

	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額		
期首元本額	5,405,069,294円	5,924,888,884円
期中追加設定元本額	583,172,599円	549,613,904円
期中解約元本額	201,281,789円	245,964,400円

(有価証券関係)

該当事項はございません。

(デリバティブ取引等関係)

該当事項はございません。

[次へ](#)

ハッピーエイジング40
(1) 中間貸借対照表

(単位：円)

	第10期中間計算期間末 (平成22年1月15日現在)	第11期中間計算期間末 (平成23年1月15日現在)
資産の部		
流動資産		
預金	3,774,761	11,079,465
金銭信託	-	2,008,650
コール・ローン	148,566,081	167,078,480
投資信託受益証券	318,668,243	348,262,476
親投資信託受益証券	6,392,623,989	6,755,064,445
未収利息	-	228
流動資産合計	6,863,633,074	7,283,493,744
資産合計	6,863,633,074	7,283,493,744
負債の部		
流動負債		
未払金	-	11,079,465
未払解約金	3,660,967	2,576,478
未払受託者報酬	2,382,262	2,496,312
未払委託者報酬	41,182,161	43,153,470
その他未払費用	131,250	132,164
流動負債合計	47,356,640	59,437,889
負債合計	47,356,640	59,437,889
純資産の部		
元本等		
元本	7,219,089,716	7,749,228,485
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金()	402,813,282	525,172,630
純資産合計	6,816,276,434	7,224,055,855
負債純資産合計	6,863,633,074	7,283,493,744

[次へ](#)

(2) 中間損益及び剰余金計算書

(単位 : 円)

	第10期中間計算期間 自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
営業収益		
受取配当金	3,695,196	5,114,257
受取利息	36,935	37,233
有価証券売買等損益	625,912,171	376,771,750
為替差損益	7,248,532	18,872,398
営業収益合計	622,395,770	363,050,842
営業費用		
受託者報酬	2,382,262	2,496,312
委託者報酬	41,182,161	43,153,470
その他費用	193,674	183,620
営業費用合計	43,758,097	45,833,402
営業利益	578,637,673	317,217,440
経常利益	578,637,673	317,217,440
中間純利益	578,637,673	317,217,440
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	11,921,054	797,778
期首剰余金又は期首欠損金 ()	951,383,724	802,056,234
剰余金増加額又は欠損金減少額	40,075,652	29,198,589
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	40,075,652	29,198,589
剰余金減少額又は欠損金増加額	58,221,829	68,734,647
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	58,221,829	68,734,647
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金 ()	402,813,282	525,172,630

[次へ](#)

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券、投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。	親投資信託受益証券、投資信託受益証券 同左
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。	同左
3. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は、投資信託受益証券の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	(1) 受取配当金の計上基準 同左 (2) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 同左
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。	外貨建取引等の処理基準 同左

（中間貸借対照表に関する注記）

	第10期中間計算期間末 （平成22年1月15日現在）	第11期中間計算期間末 （平成23年1月15日現在）
1．中間計算期間末日における受益権の総数	7,219,089,716口	7,749,228,485口
2．投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 402,813,282円	元本の欠損 525,172,630円
3．中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 0.9442円 （1万口当たり純資産額 9,442円）	1口当たり純資産額 0.9322円 （1万口当たり純資産額 9,322円）

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第10期中間計算期間 自平成21年7月16日 至平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自平成22年7月16日 至平成23年1月15日
1．信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	1．信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額
2,999,765円	3,124,679円

（金融商品に関する注記）

	第10期中間計算期間 自平成21年7月16日 至平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自平成22年7月16日 至平成23年1月15日
金融商品の時価等に関する事項		<p>（1）中間貸借対照表計上額、時価およびその差額</p> <p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>（2）時価の算定方法</p> <p>親投資信託受益証券・投資信託受益証券</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p>

	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
		<p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p> <p>(3) 金融商品の時価等に関する事項の補足説明</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

(その他の注記)

	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額		
期首元本額	6,879,359,180円	7,353,023,987円
期中追加設定元本額	631,463,605円	659,567,225円
期中解約元本額	291,733,069円	263,362,727円

(有価証券関係)

該当事項はございません。

(デリバティブ取引等関係)

該当事項はございません。

[次へ](#)

ハッピーエイジング50
（1）中間貸借対照表

（単位：円）

	第10期中間計算期間末 （平成22年1月15日現在）	第11期中間計算期間末 （平成23年1月15日現在）
資産の部		
流動資産		
預金	1,224,028	1,978,475
金銭信託	-	15,000
コール・ローン	73,904,490	90,295,643
投資信託受益証券	97,275,805	104,413,905
親投資信託受益証券	3,239,467,006	3,426,357,964
未収利息	-	123
流動資産合計	3,411,871,329	3,623,061,110
資産合計	3,411,871,329	3,623,061,110
負債の部		
流動負債		
未払金	-	1,978,476
未払解約金	13,950,527	1,359,362
未払受託者報酬	1,034,135	1,080,027
未払委託者報酬	18,095,979	18,898,928
その他未払費用	75,768	79,133
流動負債合計	33,156,409	23,395,926
負債合計	33,156,409	23,395,926
純資産の部		
元本等		
元本	3,305,157,780	3,541,616,361
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	73,557,140	58,048,823
純資産合計	3,378,714,920	3,599,665,184
負債純資産合計	3,411,871,329	3,623,061,110

[次へ](#)

(2) 中間損益及び剰余金計算書

(単位 : 円)

	第10期中間計算期間 自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
営業収益		
受取配当金	1,127,985	1,553,932
受取利息	18,699	19,055
有価証券売買等損益	214,800,698	106,936,056
為替差損益	2,037,842	5,721,392
営業収益合計	213,909,540	102,787,651
営業費用		
受託者報酬	1,034,135	1,080,027
委託者報酬	18,095,979	18,898,928
その他費用	109,504	104,321
営業費用合計	19,239,618	20,083,276
営業利益	194,669,922	82,704,375
経常利益	194,669,922	82,704,375
中間純利益	194,669,922	82,704,375
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	5,537,920	615,969
期首剰余金又は期首欠損金 ()	120,583,557	24,376,516
剰余金増加額又は欠損金減少額	6,148,698	1,495,035
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	6,148,698	1,495,035
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,140,003	1,158,102
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,140,003	1,158,102
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金 ()	73,557,140	58,048,823

[次へ](#)

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券、投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。	親投資信託受益証券、投資信託受益証券 同左
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。	同左
3. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は、投資信託受益証券の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	(1) 受取配当金の計上基準 同左 (2) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 同左
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。	外貨建取引等の処理基準 同左

（中間貸借対照表に関する注記）

	第10期中間計算期間末 （平成22年1月15日現在）	第11期中間計算期間末 （平成23年1月15日現在）
1. 中間計算期間末日における受益権の総数	3,305,157,780口	3,541,616,361口
2. 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 1.0223円 （1万口当たり純資産額 10,223円）	1口当たり純資産額 1.0164円 （1万口当たり純資産額 10,164円）

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額
968,101円	1,006,845円

（金融商品に関する注記）

	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
金融商品の時価等に関する事項		<p>（1）中間貸借対照表計上額、時価およびその差額</p> <p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>（2）時価の算定方法</p> <p>親投資信託受益証券・投資信託受益証券</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p>

	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
		<p>(3) 金融商品の時価等に関する事項の補足説明</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

(その他の注記)

	第10期中間計算期間 自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額		
期首元本額	3,178,094,163円	3,333,870,847円
期中追加設定元本額	291,836,441円	370,895,729円
期中解約元本額	164,772,824円	163,150,215円

(有価証券関係)

該当事項はございません。

(デリバティブ取引等関係)

該当事項はございません。

[次へ](#)

ハッピーエイジング60
（1）中間貸借対照表

（単位：円）

	第10期中間計算期間末 （平成22年1月15日現在）	第11期中間計算期間末 （平成23年1月15日現在）
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	1,171,352
コール・ローン	45,372,848	50,209,091
親投資信託受益証券	1,892,472,659	2,069,012,754
未収利息	-	68
流動資産合計	1,937,845,507	2,120,393,265
資産合計	1,937,845,507	2,120,393,265
負債の部		
流動負債		
未払解約金	256,910	4,036,172
未払受託者報酬	491,450	540,199
未払委託者報酬	8,749,381	9,618,134
その他未払費用	43,191	47,485
流動負債合計	9,540,932	14,241,990
負債合計	9,540,932	14,241,990
純資産の部		
元本等		
元本	1,803,661,876	1,967,898,269
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	124,642,699	138,253,006
純資産合計	1,928,304,575	2,106,151,275
負債純資産合計	1,937,845,507	2,120,393,265

[次へ](#)

(2) 中間損益及び剰余金計算書

(単位 : 円)

	第10期中間計算期間 自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
営業収益		
受取利息	10,276	11,756
有価証券売買等損益	58,987,663	15,180,822
営業収益合計	58,997,939	15,192,578
営業費用		
受託者報酬	491,450	540,199
委託者報酬	8,749,381	9,618,134
その他費用	43,191	47,485
営業費用合計	9,284,022	10,205,818
営業利益	49,713,917	4,986,760
経常利益	49,713,917	4,986,760
中間純利益	49,713,917	4,986,760
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額 ()	1,072,289	13,600
期首剰余金又は期首欠損金 ()	70,137,496	125,207,869
剰余金増加額又は欠損金減少額	9,219,399	13,614,122
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	9,219,399	13,614,122
剰余金減少額又は欠損金増加額	3,355,824	5,569,345
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	3,355,824	5,569,345
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金 ()	124,642,699	138,253,006

[次へ](#)

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第10期中間計算期間 自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
1. 有価証券の評価基準 及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末 日の基準価額で評価しております。	親投資信託受益証券 同左
2. 費用・収益の計上基 準	有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	有価証券売買等損益の計上基準 同左

(中間貸借対照表に関する注記)

	第10期中間計算期間末 (平成22年 1月15日現在)	第11期中間計算期間末 (平成23年 1月15日現在)
1. 中間計算期間末 日における受益権 の総数	1,803,661,876口	1,967,898,269口
2. 中間計算期間の 末日における1単 位当たりの純資産 の額	1口当たり純資産額 1.0691円 (1万口当たり純資産額 10,691円)	1口当たり純資産額 1.0703円 (1万口当たり純資産額 10,703円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第10期中間計算期間 自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は 一部を委託するために要する費用として委託 者報酬の中から支弁している額	1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は 一部を委託するために要する費用として委託 者報酬の中から支弁している額
231,570円	253,715円

（金融商品に関する注記）

	第10期中間計算期間 自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
金融商品の時価等に関する事項		<p>（1）中間貸借対照表計上額、時価およびその差額</p> <p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>（2）時価の算定方法</p> <p>親投資信託受益証券</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p> <p>（3）金融商品の時価等に関する事項の補足説明</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

（その他の注記）

	第10期中間計算期間 自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	第11期中間計算期間 自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額		
期首元本額	1,724,837,481円	1,852,755,930円
期中追加設定元本額	162,476,638円	199,603,121円
期中解約元本額	83,652,243円	84,460,782円

（有価証券関係）

該当事項はございません。

（デリバティブ取引等関係）

該当事項はございません。

<参考>

「ハッピーエイジング20」「ハッピーエイジング30」「ハッピーエイジング40」「ハッピーエイジング50」「ハッピーエイジング60」は「損保ジャパン日本株マザーファンド」「損保ジャパン - D I A M日本株アクティブ・マザーファンド」「損保ジャパン日本債券マザーファンド」「損保ジャパン - T C W外国株式マザーファンド」「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同マザーファンドの受益証券です。なお、同マザーファンドの状況は次のとおりです。

*なお、以下は参考情報であり、監査証明の対象ではありません。

損保ジャパン日本株マザーファンドの状況

(1) 貸借対照表

区分	(平成22年1月15日現在)	(平成23年1月15日現在)
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
金銭信託	515,439	190,555
コール・ローン	86,499,944	91,856,038
株式	6,257,442,600	6,524,492,000
未収入金	202,972,131	247,924,501
未収配当金	7,139,700	5,862,200
未収利息	-	125
流動資産合計	6,554,569,814	6,870,325,419
資産合計	6,554,569,814	6,870,325,419
負債の部		
流動負債		
未払金	153,080,144	258,449,476
流動負債合計	153,080,144	258,449,476
負債合計	153,080,144	258,449,476
純資産の部		
元本等		
元本		
元本	6,664,718,488	6,682,449,515
剰余金		
欠損金	263,228,818	70,573,572
純資産合計	6,401,489,670	6,611,875,943
負債・純資産合計	6,554,569,814	6,870,325,419

「損保ジャパン日本株マザーファンド」は、平成10年7月31日に信託契約を締結し、平成22年7月5日に第12期決算を行いました。上の表は、平成22年1月15日及び平成23年1月15日現在における同マザーファンドの状況です。（同マザーファンドの計算期間は「ハッピーエイジング20」「ハッピーエイジング30」「ハッピーエイジング40」「ハッピーエイジング50」「ハッピーエイジング60」の計算期間とは異なります。）

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
1. 有価証券の評価基準 及び評価方法	株式は移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。	株式は移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 同左
2. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	(1) 受取配当金の計上基準 同左 (2) 有価証券売買等損益の計上基準 同左

(貸借対照表に関する注記)

	(平成22年 1月15日現在)	(平成23年 1月15日現在)
1. 計算期間末日における受益権の総数	6,664,718,488口	6,682,449,515口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 263,228,818円	元本の欠損 70,573,572円
3. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 0.9605円 (1万口当たり純資産額 9,605円)	1口当たり純資産額 0.9894円 (1万口当たり純資産額 9,894円)

（金融商品に関する注記）

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
金融商品の時価等に関する事項		<p>（１）貸借対照表計上額、時価およびその差額</p> <p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>（２）時価の算定方法</p> <p>株式</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p> <p>（３）金融商品の時価等に関する事項の補足説明</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

（その他の注記）

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
開示対象ファンドの期首における当該マ ザーファンドの元本額	6,241,947,118円	6,602,022,384円
同期中における追加設定元本額	691,163,406円	493,762,123円
同期中における解約元本額	268,392,036円	413,334,992円
同期末における元本の内訳*		
ファンド名		
損保ジャパン日本株オープン	893,581,964円	801,807,655円
損保ジャパン日本株ファンド	1,657,098,281円	1,783,846,766円
ハッピーエイジング20	1,108,627,051円	1,138,442,426円
ハッピーエイジング30	1,161,881,279円	1,162,944,008円
ハッピーエイジング40	1,153,503,477円	1,148,497,556円
ハッピーエイジング50	355,441,307円	351,469,208円
ハッピーエイジング60	63,869,780円	65,220,238円
損保ジャパン日本株オープン(D C年金)	133,416,636円	141,781,304円
スター・マンスリープラス	137,298,713円	88,440,354円
(合計)	6,664,718,488円	6,682,449,515円

*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券関係）

該当事項はございません。

（デリバティブ取引等関係）

該当事項はございません。

損保ジャパン - D I A M日本株アクティブ・マザーファンドの状況

(1) 貸借対照表

区分	(平成22年1月15日現在)	(平成23年1月15日現在)
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	52,341,184	61,497,512
株式	4,025,677,200	4,194,664,200
未収入金	60,241,572	-
未収配当金	3,024,500	3,261,000
未収利息	-	84
流動資産合計	4,141,284,456	4,259,422,796
資産合計	4,141,284,456	4,259,422,796
負債の部		
流動負債		
未払金	59,917,120	-
流動負債合計	59,917,120	-
負債合計	59,917,120	-
純資産の部		
元本等		
元本		
元本	4,424,147,282	4,725,506,542
剰余金		
欠損金	342,779,946	466,083,746
純資産合計	4,081,367,336	4,259,422,796
負債・純資産合計	4,141,284,456	4,259,422,796

「損保ジャパン-D I A M日本株アクティブ・マザーファンド」は、平成12年7月31日に信託契約を締結し、平成22年7月15日に第10期決算を行いました。上の表は、平成22年1月15日及び平成23年1月15日現在における同マザーファンドの状況です。

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
1. 有価証券の評価基準 及び評価方法	株式は移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。	株式は移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 同左
2. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	(1) 受取配当金の計上基準 同左 (2) 有価証券売買等損益の計上基準 同左

(貸借対照表に関する注記)

	(平成22年 1月15日現在)	(平成23年 1月15日現在)
1. 計算期間末日における受益権の総数	4,424,147,282口	4,725,506,542口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 342,779,946円	元本の欠損 466,083,746円
3. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 0.9225円 (1万口当たり純資産額 9,225円)	1口当たり純資産額 0.9014円 (1万口当たり純資産額 9,014円)

（金融商品に関する注記）

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
金融商品の時価等に関する事項		<p>（１）貸借対照表計上額、時価およびその差額</p> <p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>（２）時価の算定方法</p> <p>株式</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p> <p>（３）金融商品の時価等に関する事項の補足説明</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

（その他の注記）

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
開示対象ファンドの期首における当該マ ザーファンドの元本額	4,176,653,417円	4,582,355,763円
同期中における追加設定元本額	359,961,689円	367,423,727円
同期中における解約元本額	112,467,824円	224,272,948円
同期末における元本の内訳*		
ファンド名		
損保ジャパン-D I A M日本株アクティブ ・ファンド	452,847,085円	450,822,265円
ハッピーエイジング20	1,144,995,402円	1,258,577,618円
ハッピーエイジング30	1,207,290,006円	1,285,748,181円
ハッピーエイジング40	1,186,807,542円	1,269,727,280円
ハッピーエイジング50	366,489,617円	388,528,985円
ハッピーエイジング60	65,717,630円	72,102,213円
（合計）	4,424,147,282円	4,725,506,542円

*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券関係）

該当事項はございません。

（デリバティブ取引等関係）

該当事項はございません。

損保ジャパン - T C W外国株式マザーファンドの状況

(1) 貸借対照表

区分	(平成22年1月15日現在)	(平成23年1月15日現在)
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	76,313,661	112,700,279
コール・ローン	41,026,274	41,394,711
株式	5,105,575,813	5,482,517,724
未収入金	12,895,141	113,845,138
未収配当金	2,807,599	2,404,403
未収利息	-	56
流動資産合計	5,238,618,488	5,752,862,311
資産合計	5,238,618,488	5,752,862,311
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	-	66,150
未払金	9,840,797	76,252,236
流動負債合計	9,840,797	76,318,386
負債合計	9,840,797	76,318,386
純資産の部		
元本等		
元本		
元本	6,306,578,955	6,862,379,438
剰余金		
欠損金	1,077,801,264	1,185,835,513
純資産合計	5,228,777,691	5,676,543,925
負債・純資産合計	5,238,618,488	5,752,862,311

「損保ジャパン-T C W外国株式マザーファンド」は、平成11年5月31日に信託契約を締結し、平成22年7月15日に第12期決算を行いました。上の表は、平成22年1月15日及び平成23年1月15日現在における同マザーファンドの状況です。

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場（外貨建証券等の場合は計算期間末日において知りうる直近の最終相場）で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。	株式は移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 同左
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法		外国為替予約取引 個別法による時価法によっております。
3. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算し、為替予約の評価は原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
4. 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	(1) 受取配当金の計上基準 同左 (2) 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 同左
5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。	外貨建取引等の処理基準 同左

区分	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
	但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。	

(貸借対照表に関する注記)

	(平成22年 1月15日現在)	(平成23年 1月15日現在)
1. 計算期間末日における受益権の総数	6,306,578,955口	6,862,379,438口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 1,077,801,264円	元本の欠損 1,185,835,513円
3. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 0.8291円 (1万口当たり純資産額 8,291円)	1口当たり純資産額 0.8272円 (1万口当たり純資産額 8,272円)

(金融商品に関する注記)

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
金融商品の時価等に関する事項		<p>(1) 貸借対照表計上額、時価およびその差額</p> <p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>(2) 時価の算定方法</p> <p>株式</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p>

	自 平成21年7月16日 至 平成22年1月15日	自 平成22年7月16日 至 平成23年1月15日
		<p>派生商品評価勘定</p> <p>デリバティブ取引等関係に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p> <p>(3) 金融商品の時価等に関する事項の補足説明</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでデリバティブ取引における名目的な契約額または想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p>

（その他の注記）

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
開示対象ファンドの期首における当該マ ザーファンドの元本額	7,084,841,926円	6,860,094,506円
同期中における追加設定元本額	531,412,912円	380,573,115円
同期中における解約元本額	1,309,675,883円	378,288,183円
同期末における元本の内訳*		
ファンド名		
損保ジャパン-T C W外国株式ファンド A コース(為替ヘッジあり)	940,104,870円	1,088,211,871円
損保ジャパン-T C W外国株式ファンド B コース(為替ヘッジなし)	914,119,750円	1,043,312,711円
ハッピーエイジング20	1,578,909,471円	1,711,603,943円
ハッピーエイジング30	1,269,677,758円	1,328,946,275円
ハッピーエイジング40	1,180,082,521円	1,235,741,112円
ハッピーエイジング50	331,978,329円	349,709,784円
ハッピーエイジング60	91,706,256円	104,853,742円
（合計）	6,306,578,955円	6,862,379,438円

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券関係）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引等関係）

（自平成21年 7月16日 至平成22年 1月15日）

該当事項はございません。

（自平成22年7月16日 至平成23年1月15日）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

（通貨関連）

（平成23年1月15日現在）				
種類	契約額等		時価 単位（円）	評価損益 単位（円）
	単位（円）	うち1年超		
市場取引以外の取引 為替予約取引 売建 ノルウェー・クローネ	18,968,850	-	19,035,000	66,150
合計	18,968,850	-	19,035,000	66,150

（注）時価の算定方法

1．計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

計算期間末日において予約為替の受渡日（以下、「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は当該予約為替は当該仲値で評価しております。

計算期間末日において当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

（イ）計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いています。

（ロ）計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いています。

2．計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値で評価しております。

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

該当事項はございません。

損保ジャパン日本債券マザーファンドの状況

(1) 貸借対照表

区分	(平成22年1月15日現在)	(平成23年1月15日現在)
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	94,744,397	56,803,004
国債証券	5,627,363,580	6,161,497,480
地方債証券	601,407,170	598,796,120
特殊債券	1,069,742,616	1,146,884,223
社債券	1,725,541,900	2,053,769,900
未収利息	28,523,640	29,626,930
前払費用	3,635,911	3,942,890
流動資産合計	9,150,959,214	10,051,320,547
資産合計	9,150,959,214	10,051,320,547
負債の部		
流動負債		
該当事項なし	-	-
流動負債合計	-	-
負債合計	-	-
純資産の部		
元本等		
元本		
元本	7,757,784,810	8,370,269,165
剰余金		
剰余金	1,393,174,404	1,681,051,382
純資産合計	9,150,959,214	10,051,320,547
負債・純資産合計	9,150,959,214	10,051,320,547

「損保ジャパン日本債券マザーファンド」は、平成12年7月31日に信託契約を締結し、平成22年7月15日に第10期決算を行いました。上の表は、平成22年1月15日及び平成23年1月15日現在における同マザーファンドの状況です。

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
1. 有価証券の評価基準 及び評価方法	国債証券・地方債証券・特殊債券・ 社債券 個別法に基づき、以下のとおり、原則 として時価で評価しております。時 価評価にあたっては、原則として日 本証券業協会発表の店頭基準気配値 段、金融商品取引業者、銀行等の提示 する価額（ただし、売気配相場は使 用しない）又は価格提供会社の提供 する価額のいずれかから入手した価 額で評価しております。 ただし、適正な評価額を入手できな かった場合又は入手した評価額が時 価と認定できない事由が認められた 場合は、投資信託委託会社が忠実義 務に基づいて合理的事由をもって時 価と認めた価額もしくは受託者と協 議のうえ両者が合理的事由をもって 時価と認めた価額で評価してありま す。	国債証券・地方債証券・特殊債券・ 社債券 同左
2. 費用・収益の計上基 準	有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	有価証券売買等損益の計上基準 同左

(貸借対照表に関する注記)

	(平成22年 1月15日現在)	(平成23年 1月15日現在)
1. 計算期間末日にお ける受益権の総数	7,757,784,810口	8,370,269,165口
2. 計算期間の末日に おける1単位当た りの純資産の額	1口当たり純資産額 1.1796円 (1万口当たり純資産額 11,796円)	1口当たり純資産額 1.2008円 (1万口当たり純資産額 12,008円)

（金融商品に関する注記）

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
金融商品の時価等に関する事項		<p>（１）貸借対照表計上額、時価およびその差額</p> <p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>（２）時価の算定方法</p> <p>国債証券・地方債証券・特殊債券・社債券</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p> <p>（３）金融商品の時価等に関する事項の補足説明</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

（その他の注記）

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
開示対象ファンドの期首における当該マ ザーファンドの元本額	7,337,482,845円	7,672,968,837円
同期中における追加設定元本額	478,138,978円	940,609,081円
同期中における解約元本額	57,837,013円	243,308,753円
同期末における元本の内訳*		
ファンド名		
損保ジャパン日本債券ファンド	2,537,393,160円	2,591,114,582円
ハッピーエイジング20	64,726,535円	70,593,529円
ハッピーエイジング30	316,962,539円	340,915,145円
ハッピーエイジング40	1,874,005,287円	1,971,228,590円
ハッピーエイジング50	1,625,406,379円	1,700,367,083円
ハッピーエイジング60	1,339,290,910円	1,436,914,934円
損保ジャパン中国本土株ファンド(限定追 加型)2010-05	- 円	7,664,843円
パン・アフリカ株式ファンド	- 円	143,906,958円
アジア転換社債ファンド(毎月分配型)	- 円	107,563,501円
（合計）	7,757,784,810円	8,370,269,165円

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券関係）

該当事項はございません。

（デリバティブ取引等関係）

該当事項はございません。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンドの状況

(1) 貸借対照表

区分	(平成22年1月15日現在)	(平成23年1月15日現在)
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	28,006,461	27,248,305
コール・ローン	25,515,511	74,293,856
国債証券	4,011,169,820	4,083,916,401
特殊債券	9,294,888	-
社債券	28,883,577	25,035,036
未収入金	92,167,405	-
未収利息	50,792,541	43,885,623
前払費用	5,670,771	9,265,737
流動資産合計	4,251,500,974	4,263,644,958
資産合計	4,251,500,974	4,263,644,958
負債の部		
流動負債		
未払金	95,640,438	-
流動負債合計	95,640,438	-
負債合計	95,640,438	-
純資産の部		
元本等		
元本		
元本	3,934,592,081	4,456,241,691
剰余金		
剰余金又は欠損金()	221,268,455	192,596,733
純資産合計	4,155,860,536	4,263,644,958
負債・純資産合計	4,251,500,974	4,263,644,958

「損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド」は、平成17年9月26日に信託契約を締結し、平成22年7月15日に第5期決算を行いました。上の表は、平成22年1月15日及び平成23年1月15日現在における同マザーファンドの状況です。

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券・特殊債券・社債券個別法に基づき、以下のとおり、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として日本証券業協会発表の店頭基準気配値段、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>ただし、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>	<p>国債証券・社債券 同左</p>
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	<p>信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p>	<p>同左</p>
3. 費用・収益の計上基準	<p>有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。</p>	<p>有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 同左</p>
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。</p>	<p>外貨建取引等の処理基準 同左</p>

区分	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
	但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。	

(貸借対照表に関する注記)

	(平成22年 1月15日現在)	(平成23年 1月15日現在)
1. 計算期間末日における受益権の総数	3,934,592,081口	4,456,241,691口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額		元本の欠損 192,596,733円
3. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 1.0562円 (1万口当たり純資産額 10,562円)	1口当たり純資産額 0.9568円 (1万口当たり純資産額 9,568円)

(金融商品に関する注記)

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
金融商品の時価等に関する事項		(1) 貸借対照表計上額、時価およびその差額 当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 (2) 時価の算定方法

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
		国債証券・社債券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。 (3) 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(その他の注記)

	自 平成21年 7月16日 至 平成22年 1月15日	自 平成22年 7月16日 至 平成23年 1月15日
開示対象ファンドの期首における当該マザーファンドの元本額	3,696,817,722円	4,056,508,619円
同期中における追加設定元本額	255,665,039円	445,511,995円
同期中における解約元本額	17,890,680円	45,778,923円
同期末における元本の内訳*		
ファンド名		
ハッピーエイジング20	215,806,501円	268,016,553円
ハッピーエイジング30	896,170,704円	1,078,622,452円
ハッピーエイジング40	947,614,930円	1,133,938,605円
ハッピーエイジング50	347,856,812円	415,252,485円
ハッピーエイジング60	108,540,059円	133,056,491円
損保ジャパン外国債券ファンド(為替ヘッジなし)	1,418,603,075円	1,427,355,105円
(合計)	3,934,592,081円	4,456,241,691円

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券関係）

該当事項はございません。

（デリバティブ取引等関係）

該当事項はございません。

2 ファンドの現況

以下の内容に更新・訂正します。

<更新・訂正後>

純資産額計算書

ハッピーエイジング20

平成23年1月31日現在

資産総額（円）	4,245,319,694
負債総額（円）	4,346,456
純資産総額(-)（円）	4,240,973,238
発行済数量（口）	5,686,573,541
1単位当り純資産額（ / ）（円）	0.7458

ハッピーエイジング30

平成23年1月31日現在

資産総額（円）	5,125,873,155
負債総額（円）	4,064,013
純資産総額(-)（円）	5,121,809,142
発行済数量（口）	6,282,749,258
1単位当り純資産額（ / ）（円）	0.8152

ハッピーエイジング40

平成23年1月31日現在

資産総額（円）	7,173,412,590
負債総額（円）	4,647,848
純資産総額(-)（円）	7,168,764,742
発行済数量（口）	7,797,879,869
1単位当り純資産額（ / ）（円）	0.9193

ハッピーエイジング50

平成23年1月31日現在

資産総額（円）	3,616,519,636
負債総額（円）	1,881,218
純資産総額(-)（円）	3,614,638,418
発行済数量（口）	3,586,182,102
1単位当り純資産額（ / ）（円）	1.0079

ハッピーエイジング60

平成23年1月31日現在

資産総額（円）	2,117,153,589
負債総額（円）	1,548,938
純資産総額（ - ）（円）	2,115,604,651
発行済数量（口）	1,981,402,444
1単位当り純資産額（ / ）（円）	1.0677

<参考>

純資産額計算書

損保ジャパン日本株マザーファンド

平成23年1月31日現在

資産総額（円）	6,441,041,779
負債総額（円）	0
純資産総額（ - ）（円）	6,441,041,779
発行済数量（口）	6,718,308,096
1単位当り純資産額（ / ）（円）	0.9587

損保ジャパン - D I A M日本株アクティブ・マザーファンド

平成23年1月31日現在

資産総額（円）	4,160,740,612
負債総額（円）	0
純資産総額（ - ）（円）	4,160,740,612
発行済数量（口）	4,702,906,406
1単位当り純資産額（ / ）（円）	0.8847

損保ジャパン - T C W外国株式マザーファンド

平成23年1月31日現在

資産総額（円）	5,599,140,329
負債総額（円）	0
純資産総額（ - ）（円）	5,599,140,329
発行済数量（口）	6,903,472,382
1単位当り純資産額（ / ）（円）	0.8111

損保ジャパン日本債券マザーファンド

平成23年1月31日現在

資産総額（円）	10,312,139,986
負債総額（円）	134,057,700
純資産総額（ - ）（円）	10,178,082,286
発行済数量（口）	8,471,334,229
1単位当り純資産額（ / ）（円）	1.2015

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

平成23年1月31日現在

資産総額 (円)	4,255,334,549
負債総額 (円)	0
純資産総額(-) (円)	4,255,334,549
発行済数量 (口)	4,456,567,021
1単位当り純資産額(/) (円)	0.9548

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1 委託会社等の概況

<訂正前>

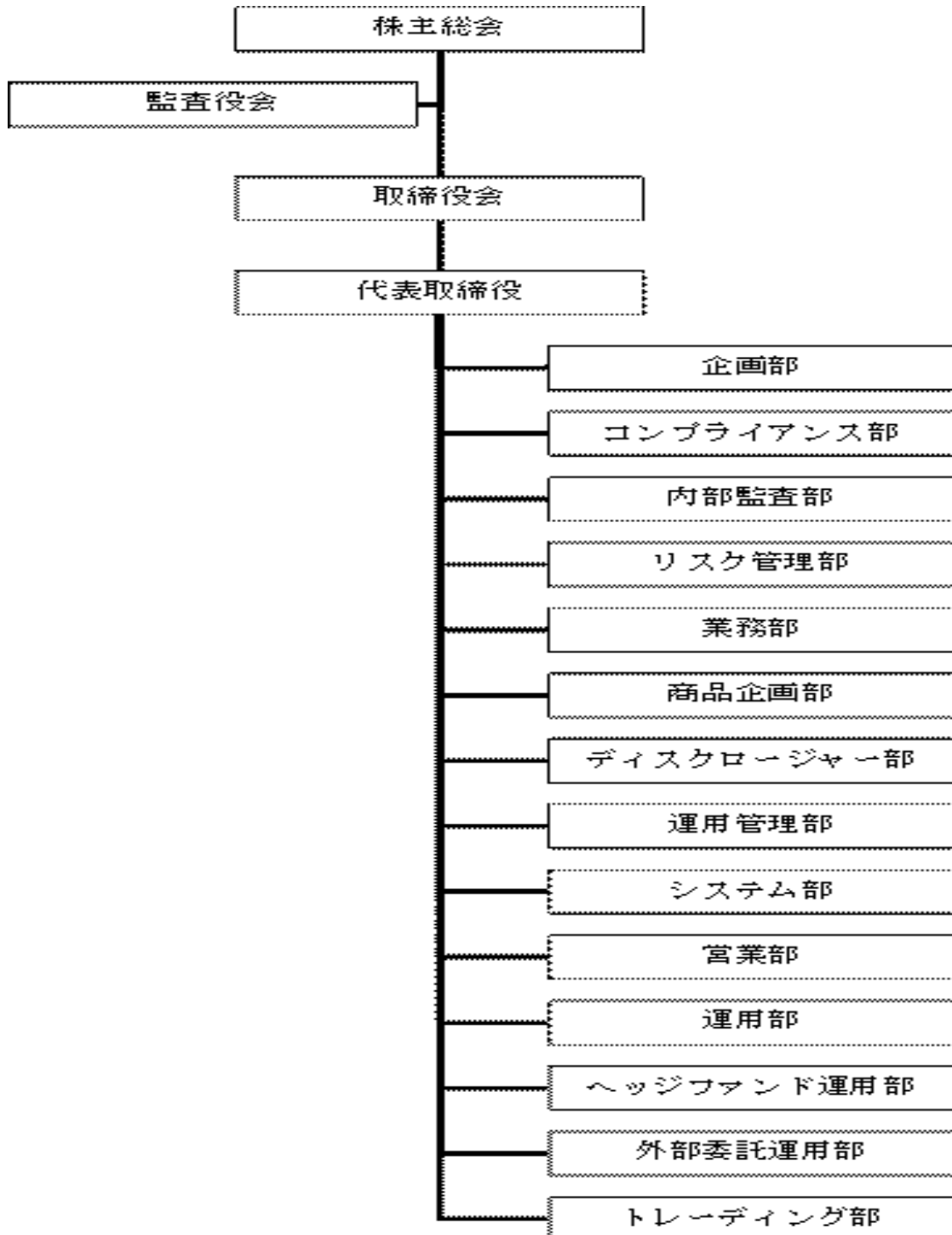
(1) 資本金の額（平成22年10月1日現在）

（略）

(2) 会社の機構（平成22年10月1日現在）

（略）

組織及び業務



部 署	主な業務内容
(略)	
運用部	(略) 投資信託業務における、ファンド毎の運用計画の企画・立案、運用評価機関・ゲートキーパー対応
(略)	
外部委託運用部	(略) 投資顧問業務に係る、外部委託の顧客ファンド毎の運用計画及び売買計画の企画・立案、審査、顧客対応、運用評価機関・ゲートキーパー対応 投資信託業務に係る、外部委託ファンド毎の運用計画及び売買計画の企画・立案、実行、運用成果の評価・分析、運用評価機関・ゲートキーパー対応

(略)

<訂正後>

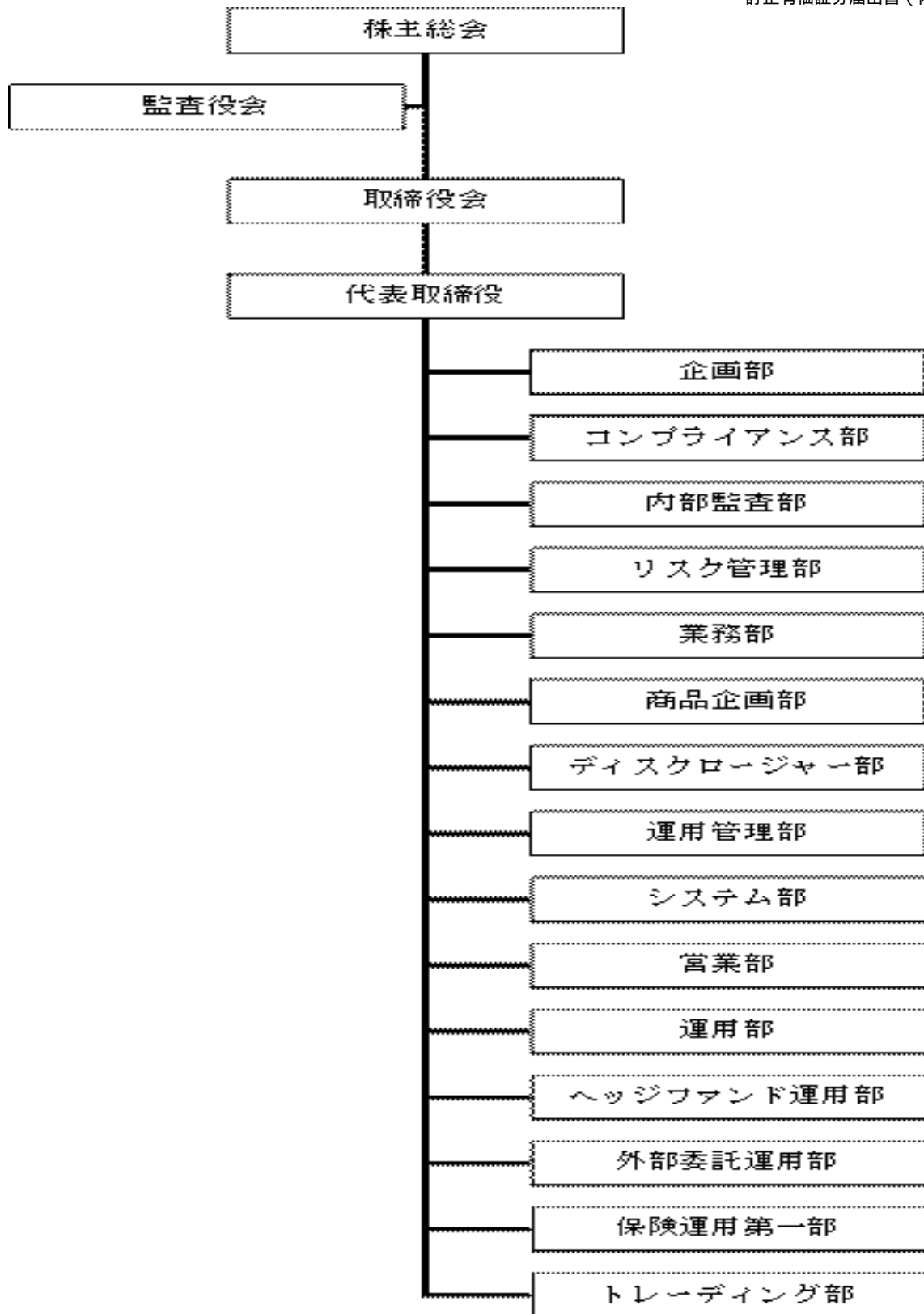
(1) 資本金の額（平成23年2月末現在）

(略)

(2) 会社の機構（平成23年2月末現在）

(略)

組織及び業務



部署	主な業務内容
(略)	
運用部	(略) 投資信託業務における、 <u>所管するファンド</u> 毎の運用計画の企画・立案、運用評価機関・ゲートキーパー対応
(略)	
外部委託運用部	(略) 投資顧問業務に係る、 <u>所管する顧客ファンド</u> 毎の運用計画及び売買計画の企画・立案、審査、顧客対応、運用評価機関・ゲートキーパー対応 投資信託業務に係る、 <u>所管するファンド</u> 毎の運用計画及び売買計画の企画・立案、実行、運用成果の評価・分析、運用評価機関・ゲートキーパー対応
保険運用第一部	<u>保険運用第一部の基本投資スタイルに係る企画・立案</u> <u>所管ファンドの内外債券投資計画の立案、審査、実行及び評価ならびに内外債券ポートフォリオの分析</u> <u>所管ファンドに関する有価証券の売買計画案及び売買手法の策定、選択及び調整に係わる事項</u> <u>所管ファンドに関する有価証券の売買執行</u> <u>所管ファンドに関する最良執行（取引証券会社等の選定基準等を含む）に係わる企画・立案、分析、評価及び管理</u> <u>所管ファンドの運用に関する顧客管理及びメンテナンスに係わる事項</u>

(略)

2 事業の内容及び営業の概況

< 訂正前 >

(略)

委託会社の運用する投資信託（親投資信託を除きます。）は平成22年7月末現在、計57本（追加型株式投資信託52本、単位型株式投資信託4本、単位型公社債投資信託1本）であり、その純資産総額の合計は192,044百万円です。

< 訂正後 >

(略)

委託会社の運用する投資信託（親投資信託を除きます。）は平成23年2月末現在、計60本（追加型株式投資信託55本、単位型株式投資信託4本、単位型公社債投資信託1本）であり、その純資産総額の合計は235,014百万円です。

[次へ](#)

3 委託会社等の経理状況

以下の内容に更新・訂正します。

<更新・訂正後>

1．委託会社である損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社（現 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社。以下「委託会社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）、ならびに、同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。

また、委託会社の中間財務諸表は「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）、ならびに、同規則第38条第1項及び第57条第1項の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。

なお、第24期（自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）は、改正前の財務諸表等規則に基づき、第25期（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）は、改正後の財務諸表等規則に基づき作成しております。

2．財務諸表及び中間財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

3．委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第24期（自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）の財務諸表及び第25期（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）の財務諸表について新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第26期中間会計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）の中間財務諸表について新日本有限責任監査法人により中間監査を受けております。

(1) 貸借対照表

区分	注記 番号	前事業年度 (平成21年3月31日現在)		当事業年度 (平成22年3月31日現在)	
		金額(千円)		金額(千円)	
(資産の部)					
流動資産					
1 現金・預金			1,010,747		877,030
2 前払費用			30,785		50,824
3 未収還付法人税等			92,266		1,581
4 未収委託者報酬			402,926		476,968
5 未収運用受託報酬	* 2		127,905		134,196
6 未収収益			118		-
7 その他			798		873
流動資産合計			1,665,549		1,541,475
固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	* 1		8,502		82,905
(2) 器具備品	* 1		29,642		51,683
(3) 建設仮勘定			799		-
有形固定資産合計			38,943		134,588
2 無形固定資産					
(1) 電話加入権			4,535		4,535
無形固定資産合計			4,535		4,535
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券			20,632		19,525
(2) 長期差入保証金			78,467		155,088
(3) その他			24		23
投資その他の資産合計			99,124		174,637
固定資産合計			142,603		313,761
資産合計			1,808,152		1,855,236

		前事業年度 (平成21年3月31日現在)		当事業年度 (平成22年3月31日現在)	
区分	注記 番号	金額(千円)		金額(千円)	
(負債の部)					
流動負債					
1 預り金			5,566		4,849
2 未払金					
(1) 未払手数料	* 2	176,259		212,825	
(2) その他未払金	* 2	72,625	248,885	55,836	268,661
3 未払費用			95,983		115,162
4 未払消費税等			-		2,553
5 未払法人税等			3,042		5,952
6 賞与引当金			83,517		77,031
流動負債合計			436,995		474,211
固定負債					
1 退職給付引当金			16,450		20,735
2 繰延税金負債			-		315
固定負債合計			16,450		21,050
負債合計			453,445		495,262
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金			1,200,000		1,550,000
2 資本剰余金					
(1) 資本準備金			202,677		504,824
資本剰余金合計			202,677		504,824
3 利益剰余金					
(1) 利益準備金			33,895		-
(2) その他利益剰余金					
繰越利益剰余金			81,748		695,310
利益剰余金合計			47,853		695,310
株主資本合計			1,354,824		1,359,514
評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金			117		460
評価・換算差額等合計			117		460
純資産合計			1,354,706		1,359,974
負債・純資産合計			1,808,152		1,855,236

(2) 損益計算書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)		当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
営業収益					
1 委託者報酬		2,162,148		1,981,466	
2 運用受託報酬	* 1	867,930		847,294	
3 募集販売手数料		2,363	3,032,441	-	2,828,761
営業費用					
1 支払手数料	* 1	968,261		905,690	
2 広告宣伝費		14,880		8,546	
3 公告費		1,150		1,105	
4 調査費		681,697		645,734	
(1) 調査費	* 1	308,676		311,467	
(2) 委託調査費	* 1	369,130		332,781	
(3) 図書費		3,889		1,485	
5 営業雑経費		136,659		105,417	
(1) 通信費		17,184		17,093	
(2) 印刷費		112,550		81,793	
(3) 諸会費		6,924	1,802,648	6,530	1,666,494
一般管理費					
1 給料		864,587		823,238	
(1) 役員報酬	* 2	28,399		27,399	
(2) 給料・手当		655,000		636,601	
(3) 賞与		181,186		159,237	
2 福利厚生費		101,200		100,145	
3 交際費		2,243		1,872	
4 寄付金		100		100	
5 旅費交通費		19,467		18,119	
6 法人事業税		6,314		5,590	
7 租税公課		1,869		4,707	
8 不動産賃借料		157,251		157,467	
9 退職給付費用		15,030		14,274	
10 賞与引当金繰入		83,517		77,031	

		前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(千円)		金額(千円)	
11 固定資産減価償却費		11,004		31,867	
12 移転費用		-		31,195	
13 諸経費	* 1	173,778	1,436,366	164,179	1,429,789
営業損失()			206,573		267,522
営業外収益					
1 受取配当金		180		216	
2 受取利息		2,773		554	
3 為替差益		53		50	
4 雑益		133	3,140	3,379	4,200
営業外費用					
1 有価証券償還損		16		32	
2 雑損		33	50	157	190
経常損失()			203,482		263,512
特別利益		-	-	-	-
特別損失					
1 固定資産除却損	* 3	288		15,990	
2 臨時償却費	* 4	4,171		-	
3 その他特別損失	* 5	-	4,460	413,708	429,698
税引前当期純損失()			207,943		693,211
法人税、住民税及び事業税			1,140		2,099
法人税等調整額			94,537		-
当期純損失()			303,620		695,310

(3) 株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	1,200,000	1,200,000
当期変動額		
新株の発行	-	350,000
当期変動額合計	-	350,000
当期末残高	1,200,000	1,550,000
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	202,677	202,677
当期変動額		
新株の発行	-	350,000
資本準備金からその他資本剰余金への振替	-	47,853
当期変動額合計	-	302,146
当期末残高	202,677	504,824
その他資本剰余金		
前期末残高	-	-
当期変動額		
資本準備金からその他資本剰余金への振替	-	47,853
その他資本剰余金から繰越利益剰余金への振替	-	47,853
当期変動額合計	-	-
当期末残高	-	-
資本剰余金合計		
前期末残高	202,677	202,677
当期変動額		
新株の発行	-	350,000
その他資本剰余金から繰越利益剰余金への振替	-	47,853
当期変動額合計	-	302,146
当期末残高	202,677	504,824

	前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月 31日)	当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月 31日)
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	32,416	33,895
当期変動額		
剰余金の配当	1,479	-
利益準備金から繰越利益剰余金への振替	-	33,895
当期変動額合計	1,479	33,895
当期末残高	33,895	-
繰越利益剰余金		
前期末残高	238,141	81,748
当期変動額		
剰余金の配当	16,269	-
当期純損失()	303,620	695,310
その他資本剰余金から繰越利益剰余金への振替	-	47,853
利益準備金から繰越利益剰余金への振替	-	33,895
当期変動額合計	319,889	613,562
当期末残高	81,748	695,310
利益剰余金合計		
前期末残高	270,557	47,853
当期変動額		
剰余金の配当	14,790	-
当期純損失()	303,620	695,310
その他資本剰余金から繰越利益剰余金への振替	-	47,853
当期変動額合計	318,410	647,457
当期末残高	47,853	695,310
株主資本合計		
前期末残高	1,673,235	1,354,824
当期変動額		
新株の発行	-	700,000
剰余金の配当	14,790	-
当期純損失()	303,620	695,310
当期変動額合計	318,410	4,689
当期末残高	1,354,824	1,359,514

	前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月 31日)	当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月 31日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	10	117
当期変動額		
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	127	577
当期変動額合計	127	577
当期末残高	117	460
評価・換算差額等合計		
前期末残高	10	117
当期変動額		
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	127	577
当期変動額合計	127	577
当期末残高	117	460
純資産合計		
前期末残高	1,673,245	1,354,706
当期変動額		
新株の発行	-	700,000
剰余金の配当	14,790	-
当期純損失（ ）	303,620	695,310
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	127	577
当期変動額合計	318,538	5,267
当期末残高	1,354,706	1,359,974

重要な会計方針

<p style="text-align: center;">前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)</p>	<p style="text-align: center;">当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)</p>								
<p>1．有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) その他有価証券のうち時価のあるものについては、決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法より算定）によっております。</p> <p>(2) その他有価証券のうち時価のないものについては、移動平均法による原価法によっております。</p> <p>2．固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産（リース資産除く）定率法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>建物</td> <td>3～13年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>3～20年</td> </tr> </table> <p>(2) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。 なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>	建物	3～13年	器具備品	3～20年	<p>1．有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 同左</p> <p>(2) 同左</p> <p>2．固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産（リース資産除く）定率法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>建物</td> <td>3～15年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>3～20年</td> </tr> </table> <p>(2) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。 なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>	建物	3～15年	器具備品	3～20年
建物	3～13年								
器具備品	3～20年								
建物	3～15年								
器具備品	3～20年								

<p style="text-align: center;">前事業年度 （自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日）</p>	<p style="text-align: center;">当事業年度 （自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日）</p>
<p>（会計方針の変更）</p> <p>所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が適用されたことに伴い、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。</p> <p>これによる損益に与える影響はありません。</p> <p>3．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準</p> <p>外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。</p> <p>4．引当金の計上基準</p> <p>（1）賞与引当金は、従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。</p> <p>（2）退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上しております。</p> <p>退職給付債務の計算に当たっては、「退職給付会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会 会計制度委員会報告第13号）に定める簡便法によっております。</p> <p>5．消費税等の会計処理方法</p> <p>税抜方式を採用しております。</p>	<p>3．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準</p> <p>同左</p> <p>4．引当金の計上基準</p> <p>（1）賞与引当金は、従業員賞与の支給に充てるため、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。</p> <p>（2）退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における要支給額を計上しております。</p> <p>退職給付債務の計算に当たっては、「退職給付会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会 会計制度委員会報告第13号）に定める簡便法によっております。</p> <p>5．消費税等の会計処理方法</p> <p>同左</p>

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成21年3月31日現在)	当事業年度 (平成22年3月31日現在)										
<p>* 1 . 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。</p> <table data-bbox="209 394 751 472"> <tr> <td>建物</td> <td>68,735千円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>38,609千円</td> </tr> </table>	建物	68,735千円	器具備品	38,609千円	<p>* 1 . 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。</p> <table data-bbox="863 394 1406 472"> <tr> <td>建物</td> <td>6,200千円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>35,609千円</td> </tr> </table>	建物	6,200千円	器具備品	35,609千円		
建物	68,735千円										
器具備品	38,609千円										
建物	6,200千円										
器具備品	35,609千円										
<p>* 2 . 関係会社に対する主な資産・負債 区分掲記されているもののほか、各科目に含まれているものは次のとおりであります。</p> <table data-bbox="209 703 751 826"> <tr> <td>未収運用受託報酬</td> <td>298千円</td> </tr> <tr> <td>未払手数料</td> <td>2,249千円</td> </tr> <tr> <td>その他未払金</td> <td>15,064千円</td> </tr> </table>	未収運用受託報酬	298千円	未払手数料	2,249千円	その他未払金	15,064千円	<p>* 2 . 関係会社に対する主な資産・負債 区分掲記されているもののほか、各科目に含まれているものは次のとおりであります。</p> <table data-bbox="863 703 1406 781"> <tr> <td>未払手数料</td> <td>2,857千円</td> </tr> <tr> <td>その他未払金</td> <td>10,000千円</td> </tr> </table>	未払手数料	2,857千円	その他未払金	10,000千円
未収運用受託報酬	298千円										
未払手数料	2,249千円										
その他未払金	15,064千円										
未払手数料	2,857千円										
その他未払金	10,000千円										

（損益計算書関係）

前事業年度 （自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日）	当事業年度 （自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日）																												
<p>* 1 . このうち関係会社との取引高は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">運用受託報酬</td> <td style="text-align: right;">17,251千円</td> </tr> <tr> <td>支払手数料</td> <td style="text-align: right;">12,613千円</td> </tr> <tr> <td>調査費</td> <td style="text-align: right;">1,650千円</td> </tr> <tr> <td>委託調査費</td> <td style="text-align: right;">30,000千円</td> </tr> <tr> <td>諸経費</td> <td style="text-align: right;">477千円</td> </tr> </table> <p>* 2 . 役員報酬の限度額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">取締役 年額</td> <td style="text-align: right;">200,000千円以内</td> </tr> <tr> <td>監査役 年額</td> <td style="text-align: right;">50,000千円以内</td> </tr> </table> <p>* 3 . 固定資産除却損は、器具備品288千円であります。</p> <p>* 4 . 臨時償却費は、現在入居している大手町フィナンシャルセンターの再開発に伴い賃貸借契約が2010年 8月までとなっているため、既存の建物附属設備の耐用年数を見直したことによるものであります。</p> <p>* 5 .</p>	運用受託報酬	17,251千円	支払手数料	12,613千円	調査費	1,650千円	委託調査費	30,000千円	諸経費	477千円	取締役 年額	200,000千円以内	監査役 年額	50,000千円以内	<p>* 1 . このうち関係会社との取引高は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">運用受託報酬</td> <td style="text-align: right;">7,029千円</td> </tr> <tr> <td>支払手数料</td> <td style="text-align: right;">11,536千円</td> </tr> <tr> <td>調査費</td> <td style="text-align: right;">1,647千円</td> </tr> <tr> <td>委託調査費</td> <td style="text-align: right;">20,000千円</td> </tr> <tr> <td>諸経費</td> <td style="text-align: right;">494千円</td> </tr> </table> <p>* 2 . 役員報酬の限度額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">取締役 年額</td> <td style="text-align: right;">200,000千円以内</td> </tr> <tr> <td>監査役 年額</td> <td style="text-align: right;">50,000千円以内</td> </tr> </table> <p>* 3 . 固定資産除却損は建物7,422千円、器具備品8,567千円であります。</p> <p>* 4 .</p> <p>* 5 . その他特別損失は、当社を委託会社とする私募投資信託（既償還済）に係る仲裁判断に基づき支払った金額であります。 本件は、平成21年 4月28日に、当社を委託会社とする私募投資信託（既償還済）の関係者より、第二東京弁護士会仲裁センターに解約代金に係わる和解あっせんの申立てがなされたことに関連して、当社及び申立人らが進めておりました和解あっせん手続に関するものであります。当社及び和解あっせん申立人らによる協議の結果、平成21年 12月21日に仲裁合意が成立し仲裁手続に移行し平成22年 1月22日になされた仲裁判断に基づいて、当社が和解あっせん申立人らに対して支払いを行い、これを特別損失として計上したものであります。</p>	運用受託報酬	7,029千円	支払手数料	11,536千円	調査費	1,647千円	委託調査費	20,000千円	諸経費	494千円	取締役 年額	200,000千円以内	監査役 年額	50,000千円以内
運用受託報酬	17,251千円																												
支払手数料	12,613千円																												
調査費	1,650千円																												
委託調査費	30,000千円																												
諸経費	477千円																												
取締役 年額	200,000千円以内																												
監査役 年額	50,000千円以内																												
運用受託報酬	7,029千円																												
支払手数料	11,536千円																												
調査費	1,647千円																												
委託調査費	20,000千円																												
諸経費	494千円																												
取締役 年額	200,000千円以内																												
監査役 年額	50,000千円以内																												

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	前期末株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	9,860株	-株	-株	9,860株

2．自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3．新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4．剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

・普通株式の配当に関する事項

配当の原資	繰越利益剰余金
配当の総額	14,790,000円
1株当たりの配当額	1,500円
基準日	平成20年3月31日
効力発生日	平成20年6月26日

(2) 当事業年度に係る定時株主総会の決議により行う剰余金の配当は予定しておりません。

当事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	前期末株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	9,860株	7,000株	-株	16,860株

(注) 当事業年度に増加しました7,000株は、平成21年12月29日に実施しました株主割当による新株発行であります。

2．自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3．新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4．剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 当事業年度に係る定時株主総会の決議により行う剰余金の配当は予定しておりません。

（リース取引関係）

前事業年度 （自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日）				当事業年度 （自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日）			
<p>1. ファイナンス・リース取引 所有権移転外ファイナンス・リース取引 (1) リース資産の内容 有形固定資産 器具備品であります。</p> <p>(2) リース資産の減価償却の方法 重要な会計方針「2. 固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。</p> <p>なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっており、その内容は次のとおりであります。</p> <p>リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額</p>				<p>1. ファイナンス・リース取引 所有権移転外ファイナンス・リース取引 (1) リース資産の内容 有形固定資産 同左</p> <p>(2) リース資産の減価償却の方法 同左</p> <p>なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっており、その内容は次のとおりであります。</p> <p>リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額</p>			
	取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	期末残高相当額 (千円)		取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	期末残高相当額 (千円)
器具備品	29,349	13,909	15,439	器具備品	22,549	13,319	9,229
合計	29,349	13,909	15,439	合計	22,549	13,319	9,229
<p>未経過リース料期末残高相当額等 未経過リース料期末残高相当額</p> <p>1年内 5,961千円 1年超 10,232千円 合計 16,194千円</p> <p>支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失</p> <p>支払リース料 7,042千円 減価償却費相当額 6,296千円 支払利息相当額 891千円</p>				<p>未経過リース料期末残高相当額等 未経過リース料期末残高相当額</p> <p>1年内 4,716千円 1年超 5,141千円 合計 9,857千円</p> <p>支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失</p> <p>支払リース料 5,699千円 減価償却費相当額 5,076千円 支払利息相当額 598千円</p>			

前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
<p>減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p> <p>利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。</p> <p>(減損損失について) リース資産に配分された減損損失はありません。</p>	<p>減価償却費相当額の算定方法 同左</p> <p>利息相当額の算定方法 同左</p> <p>(減損損失について) 同左</p>

（金融商品関係）

（追加情報）

当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 平成20年3月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日）を適用しております。

当事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品の状況に取組方針

当社では、主として短期的な預金及び一部の有価証券によって運用しており、経営として許容できる範囲内にリスクを制御するよう、適切に資産運用を行っております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、主に投資信託を保有しており、今後の基準価額の下落によっては、売却損・評価損計上による利益減少や、評価差額金の減少により純資産が減少するなど、価格変動リスクに晒されております。長期差入保証金は本社事務所にかかる敷金であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社では、短期的な預金について、格付の高い金融機関とのみ取引を行っております。

価格変動リスクについては、四半期ごとに時価の状況等を把握し、当該状況について経理担当部が取締役会等へ報告し、適切に管理を行っております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含めておりません（注2. 参照）。

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金・預金	877,030	877,030	-
(2) 投資有価証券 其他有価証券	3,775	3,775	-
資産計	880,806	880,806	-

注1. 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券取引に関する事項

資産

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 投資有価証券

時価については、公表されている基準価額によっております。

注2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	貸借対照表計上額 (千円)
非上場株式	15,750
長期差入保証金	155,088

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「(2) 投資有価証券其他有価証券」には含めておりません。

本社事務所の敷金である長期差入保証金は、当初から長期の入居を考えていることから退去年月を想定できないため、時価開示の対象としておりません。

注3. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

	1年以内 (千円)	1年超 5年以内 (千円)	5年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
(1) 預金	876,774	-	-	-
(2) 投資有価証券 其他有価証券のうち 満期があるもの				
株式	-	-	-	-
債券	-	-	-	-
その他	1,028	1,534	-	-
合計	877,802	1,534	-	-

注4. 社債、新株予約権付社債及び長期借入金の決算日後の返済予定額

該当事項はありません。

（有価証券関係）

前事業年度（平成21年3月31日現在）

1．売買目的有価証券

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券で時価のあるもの

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

該当事項はありません。

4．その他有価証券で時価のあるもの

	種類	取得原価 (千円)	貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	1,000	1,005	5
	小計	1,000	1,005	5
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	4,000	3,876	123
	小計	4,000	3,876	123
合計		5,000	4,882	117

5．当事業年度中に売却したその他有価証券

該当事項はありません。

6．時価評価されていない主な有価証券の内容

	貸借対照表計上額 (千円)
(1) その他有価証券	15,750

7．その他有価証券のうち満期があるもの及び満期保有目的の債券の今後の償還予定額

該当事項はありません。

当事業年度（平成22年3月31日現在）

1．売買目的有価証券

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式

該当事項はありません。

4．その他有価証券で時価のあるもの

	種類	貸借対照表日における 貸借対照表計上額 (千円)	取得原価(千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	3,775	3,000	775
	小計	3,775	3,000	775
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	-	-	-
	小計	-	-	-
合計		3,775	3,000	775

5．当事業年度中に売却したその他有価証券

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(退職給付関係)

前事業年度 (平成21年3月31日現在)	当事業年度 (平成22年3月31日現在)																
<p>1. 採用している退職給付制度の概要 当社は、確定給付型の制度として、退職一時金制度を採用しております。</p> <p>2. 退職給付債務に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><u>退職給付債務</u></td> <td style="text-align: right;">16,450千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">16,450千円</td> </tr> </table> <p>3. 退職給付費用に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><u>勤務費用等</u></td> <td style="text-align: right;">15,030千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">15,030千円</td> </tr> </table> <p>4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 該当事項はありません。</p> <p>5. 当社は、退職給付債務及び退職給付費用の算定方法として簡便法を採用しております。</p>	<u>退職給付債務</u>	16,450千円	退職給付引当金	16,450千円	<u>勤務費用等</u>	15,030千円	退職給付費用	15,030千円	<p>1. 採用している退職給付制度の概要 同左</p> <p>2. 退職給付債務に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><u>退職給付債務</u></td> <td style="text-align: right;">20,735千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">20,735千円</td> </tr> </table> <p>3. 退職給付費用に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><u>勤務費用等</u></td> <td style="text-align: right;">14,274千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">14,274千円</td> </tr> </table> <p>4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 同左</p> <p>5. 同左</p>	<u>退職給付債務</u>	20,735千円	退職給付引当金	20,735千円	<u>勤務費用等</u>	14,274千円	退職給付費用	14,274千円
<u>退職給付債務</u>	16,450千円																
退職給付引当金	16,450千円																
<u>勤務費用等</u>	15,030千円																
退職給付費用	15,030千円																
<u>退職給付債務</u>	20,735千円																
退職給付引当金	20,735千円																
<u>勤務費用等</u>	14,274千円																
退職給付費用	14,274千円																

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(税効果会計関係)

前事業年度 (平成21年3月31日現在)	当事業年度 (平成22年3月31日現在)																																																																				
<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">繰延税金資産</td> </tr> <tr> <td>繰越欠損金</td> <td style="text-align: right;">83,608</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア損金算入限度超過額</td> <td style="text-align: right;">49,479</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金</td> <td style="text-align: right;">33,983</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">6,693</td> </tr> <tr> <td>繰延資産償却超過額</td> <td style="text-align: right;">3,822</td> </tr> <tr> <td>未払費用否認</td> <td style="text-align: right;">3,397</td> </tr> <tr> <td>未払事業税否認</td> <td style="text-align: right;">772</td> </tr> <tr> <td>未払事業所税否認</td> <td style="text-align: right;">386</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">143</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">182,287</td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">182,287</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">繰延税金負債</td> </tr> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">-</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">-</td> </tr> </table>	繰延税金資産		繰越欠損金	83,608	ソフトウェア損金算入限度超過額	49,479	賞与引当金	33,983	退職給付引当金	6,693	繰延資産償却超過額	3,822	未払費用否認	3,397	未払事業税否認	772	未払事業所税否認	386	その他	143	繰延税金資産小計	182,287	評価性引当額	182,287	繰延税金資産合計	-	繰延税金負債		その他有価証券評価差額金	-	繰延税金負債合計	-	繰延税金資産の純額	-	<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">繰延税金資産</td> </tr> <tr> <td>繰越欠損金</td> <td style="text-align: right;">356,999</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア損金算入限度超過額</td> <td style="text-align: right;">54,329</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金</td> <td style="text-align: right;">31,344</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">8,437</td> </tr> <tr> <td>未払費用否認</td> <td style="text-align: right;">3,327</td> </tr> <tr> <td>繰延資産償却超過額</td> <td style="text-align: right;">2,395</td> </tr> <tr> <td>未払事業税否認</td> <td style="text-align: right;">1,568</td> </tr> <tr> <td>未払事業所税否認</td> <td style="text-align: right;">481</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">136</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">459,019</td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">459,019</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">繰延税金負債</td> </tr> <tr> <td>その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">315</td> </tr> <tr> <td>繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">315</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産（負債）の純額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">315</td> </tr> </table>	繰延税金資産		繰越欠損金	356,999	ソフトウェア損金算入限度超過額	54,329	賞与引当金	31,344	退職給付引当金	8,437	未払費用否認	3,327	繰延資産償却超過額	2,395	未払事業税否認	1,568	未払事業所税否認	481	その他	136	繰延税金資産小計	459,019	評価性引当額	459,019	繰延税金資産合計	-	繰延税金負債		その他有価証券評価差額金	315	繰延税金負債合計	315	繰延税金資産（負債）の純額	315
繰延税金資産																																																																					
繰越欠損金	83,608																																																																				
ソフトウェア損金算入限度超過額	49,479																																																																				
賞与引当金	33,983																																																																				
退職給付引当金	6,693																																																																				
繰延資産償却超過額	3,822																																																																				
未払費用否認	3,397																																																																				
未払事業税否認	772																																																																				
未払事業所税否認	386																																																																				
その他	143																																																																				
繰延税金資産小計	182,287																																																																				
評価性引当額	182,287																																																																				
繰延税金資産合計	-																																																																				
繰延税金負債																																																																					
その他有価証券評価差額金	-																																																																				
繰延税金負債合計	-																																																																				
繰延税金資産の純額	-																																																																				
繰延税金資産																																																																					
繰越欠損金	356,999																																																																				
ソフトウェア損金算入限度超過額	54,329																																																																				
賞与引当金	31,344																																																																				
退職給付引当金	8,437																																																																				
未払費用否認	3,327																																																																				
繰延資産償却超過額	2,395																																																																				
未払事業税否認	1,568																																																																				
未払事業所税否認	481																																																																				
その他	136																																																																				
繰延税金資産小計	459,019																																																																				
評価性引当額	459,019																																																																				
繰延税金資産合計	-																																																																				
繰延税金負債																																																																					
その他有価証券評価差額金	315																																																																				
繰延税金負債合計	315																																																																				
繰延税金資産（負債）の純額	315																																																																				
<p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳 当期は税引前当期純損失であるため、記載を省略しております。</p>	<p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳 同左</p>																																																																				

関連当事者情報

前事業年度（自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）

（追加情報）

当事業年度より、「関連当事者の開示に関する会計基準」（企業会計基準第11号 平成18年10月17日）及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第13号 平成18年10月17日）を適用しております。なお、これによる開示対象範囲の変更はありません。

1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等に限る。）等

（単位：千円、千米ドル）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	㈱損害保険 ジャパン	東京都 新宿区	70,000,000	損害保険業	(被所有) 直接70%	1. 投資顧問契約に基づく 資産運用の助言及び一任 (注1)	運用受託報酬の受取り	17,251	未収運用 受託報酬	298
						2. 投資信託に係る事務代 行の委託等(注2)	投信代行手 数料の支払い	12,613	未払 手数料	2,249
						3. 保険契約(注3)	損害保険料 の支払い	477	-	-
						4. LANの利用(注4)	LAN利用料 の支払い	1,650	-	-
その他の 関係会社	The TCW Group, Inc.	米国 カリフォル ニア州	US\$195,200	資産運用会社 (持株会社)	(被所有) 直接30%	株式投資に関する情報提供 契約(注5)	情報料の支 払い	30,000	その他 未払金	15,000

注1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件ないし取引条件の決定方針等

(注1) 運用受託報酬の受取りについては一般的取引条件によっております。

(注2) 代行手数料の支払いについては市場動向等を勘案し、協議の上決定しております。

(注3) 損害保険料の支払いについては一般的取引条件によっております。

(注4) LAN利用料の支払いについては両社が合意した合理的に妥当と考えられる条件によっております。

(注5) 情報料の支払いについては市場動向等を勘案し、協議の上決定しております。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

子会社及び関連会社等との取引はありません。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

(単位：千円、千米ドル)

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパンひまわり生命保険(株)	東京都新宿区	17,250,000	生命保険業	-	1. 投資顧問契約に基づく資産運用の一任(注1)	運用受託報酬の受取り	141,585	未収運用受託報酬	73,611
						2. 団体定期保険の契約(注2)	生命保険料の支払い	607	-	-
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパンDC証券(株)	東京都新宿区	11,500,000	確定拠出年金業	-	1. 投資顧問契約に基づく資産運用の助言(注3)	投資顧問料の支払い	25,908	未払費用	4,980
						2. 投資信託に係る事務代行の委託等(注4)	投信代行手数料の支払い	196,474	未払手数料	37,347
その他の関係会社の子会社	TCW Investment Management Company	米国カリフォルニア州	US\$25	投資顧問業及び投資信託委託業	-	投資顧問契約に基づく資産運用の一任(注3)	投資顧問料の支払い	68,649	未払費用	6,965

注1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件ないし取引条件の決定方針等

(注1) 運用受託報酬の受取りについては一般的取引条件によっております。

(注2) 生命保険料の支払いについては一般的取引条件によっております。

(注3) 投資顧問料の支払いについては市場動向等を勘案し、協議の上決定しております。

(注4) 代行手数料の支払いについては市場動向等を勘案し、協議の上決定しております。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等

役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等との取引はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

(株)損害保険ジャパン（東京証券取引所・大阪証券取引所・名古屋証券取引所・福岡証券取引所・札幌証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

関連会社はありません。

当事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等に限る。）等

（単位：千円、千米ドル）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	㈱損害保険 ジャパン	東京都 新宿区	70,000,000	損害保険業	(被所有) 直接70%	1. 株主割当増資による新株の発行(注1)	増資の受け入れ	490,000	-	-
						2. 投資顧問契約に基づく資産運用の助言及び一任(注2)	運用受託報酬の受取り	7,029	-	-
						3. 投資信託に係る事務代行の委託等(注3)	投信代行手数料の支払い	11,536	未払手数料	2,857
						4. 保険契約(注4)	損害保険料の支払い	494	-	-
						5. LANの利用(注5)	LAN利用料の支払い	1,647	-	-
その他の 関係会社	The TCW Group, Inc.	米国 カリフォルニア州	US\$195,297	資産運用会社 (持株会社)	(被所有) 直接30%	1. 株主割当増資による新株の発行(注1)	増資の受け入れ	210,000	-	-
						2. 株式投資に関する情報提供契約(注6)	情報料の支払い	20,000	その他未払金	10,000

注1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件ないし取引条件の決定方針等

(注1) 株主割当増資による新株の発行は、平成21年12月29日を払込期日として、1株当り100,000円の発行価額で7,000株の新株発行を行ったものであります。

(注2) 運用受託報酬の受取りについては一般的取引条件によっております。

(注3) 代行手数料の支払いについては市場動向等を勘案し、協議の上決定しております。

(注4) 損害保険料の支払いについては一般的取引条件によっております。

(注5) LAN利用料の支払いについては両社が合意した合理的に妥当と考えられる条件によっております。

(注6) 情報料の支払いについては市場動向等を勘案し、協議の上決定しております。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

子会社及び関連会社等との取引はありません。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

(単位:千円,千米ドル)

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパンひまわり生命保険(株)	東京都新宿区	17,250,000	生命保険業	-	1. 投資顧問契約に基づく資産運用の一任(注1)	運用受託報酬の受取り	153,065	未収運用受託報酬	83,134
						2. 団体定期保険の契約(注2)	生命保険料の支払い	648	-	-
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパンDC証券(株)	東京都新宿区	3,000,000	確定拠出年金業	-	1. 投資顧問契約に基づく資産運用の助言(注3)	投資顧問料の支払い	27,766	未払費用	6,300
						2. 投資信託に係る事務代行の委託等(注4)	投信代行手数料の支払い	214,049	未払手数料	52,605
その他の関係会社の子会社	TCW Investment Management Company	米国カリフォルニア州	US\$25	投資顧問業及び投資信託委託業	-	投資顧問契約に基づく資産運用の一任(注3)	投資顧問料の支払い	51,962	未払費用	16,264

注1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件ないし取引条件の決定方針等

(注1) 運用受託報酬の受取りについては一般的取引条件によっております。

(注2) 生命保険料の支払いについては一般的取引条件によっております。

(注3) 投資顧問料の支払いについては市場動向等を勘案し、協議の上決定しております。

(注4) 代行手数料の支払いについては市場動向等を勘案し、協議の上決定しております。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等

役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等との取引はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

(株)損害保険ジャパン(当事業年度末においては、金融商品取引所には上場しておりません。)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

関連会社はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 137,394.21円 1株当たり当期純損失金額() 30,793.19円 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純損失金額()については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり純資産額 80,662.77円 1株当たり当期純損失金額() 57,025.37円 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純損失金額()については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純損失金額()の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
当期純損失()(千円)	303,620	695,310
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純損失()(千円)	303,620	695,310
期中平均株式数(株)	9,860	12,193

(重要な後発事象)

前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
平成21年4月28日、当社を委託会社とする私募投資信託(既償還済)の関係者より、第二東京弁護士会仲裁センターに解約代金に係わる和解あっせんの申立てがなされました。当社は本申立てに対して、あっせん手続きの中で紛争解決に向けて協議を行っております。 なお、申立書によると、当該関係者による請求額は本申立時点で約12億7,000万円であります。	該当事項はありません。

[次へ](#)

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

		第26期中間会計期間末 (平成22年9月30日現在)
区分	注記 番号	金額(千円)
(資産の部)		
流動資産		
1 現金・預金		660,692
2 未収委託者報酬		446,410
3 未収運用受託報酬		345,523
4 未収収益		15
5 その他		38,481
流動資産合計		1,491,123
固定資産		
1 有形固定資産	1	123,968
2 無形固定資産		4,535
3 投資その他の資産		
(1) 長期差入保証金		155,088
(2) その他		15,773
投資その他の資産合計		170,861
固定資産合計		299,365
資産合計		1,790,488

		第26期中間会計期間末 (平成22年9月30日現在)
区分	注記 番号	金額(千円)
(負債の部)		
流動負債		
1 預り金		3,815
2 未払金		
(1) 未払手数料		197,721
(2) その他未払金		93,505
未払金合計		291,226
3 未払費用		184,917
4 未払法人税等		4,775
5 賞与引当金		84,964
6 その他	2	14,798
流動負債合計		584,497
固定負債		
1 退職給付引当金		23,479
2 資産除去債務		5,736
3 繰延税金負債		1,960
固定負債合計		31,176
負債合計		615,673
(純資産の部)		
株主資本		
1 資本金		1,550,000
2 資本剰余金		
(1) 資本準備金		504,824
資本剰余金合計		504,824
3 利益剰余金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		880,009
利益剰余金合計		880,009
株主資本合計		1,174,815
純資産合計		1,174,815
負債・純資産合計		1,790,488

(2) 中間損益計算書

		第26期中間会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	
営業収益			
1 委託者報酬		1,003,950	
2 運用受託報酬		448,852	1,452,802
営業費用			
1 支払手数料		465,758	
2 広告宣伝費		9,986	
3 公告費		3,213	
4 調査費		358,740	
(1) 調査費		166,351	
(2) 委託調査費		191,672	
(3) 図書費		716	
5 営業雑経費		82,944	
(1) 通信費		11,538	
(2) 印刷費		66,254	
(3) 諸会費		5,150	920,643
一般管理費			
1 給料		371,292	
(1) 役員報酬		13,800	
(2) 給料・手当		324,401	
(3) 賞与		33,091	
2 福利厚生費		52,770	
3 交際費		813	
4 旅費交通費		10,642	
5 法人事業税		3,631	
6 租税公課		2,450	
7 不動産賃借料		92,300	
8 退職給付費用		9,379	
9 賞与引当金繰入		84,964	
10 固定資産減価償却費	1	18,981	
11 諸経費		67,826	715,051
営業損失 ()			182,892

		第26期中間会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	
区分	注記 番号	金額（千円）	
営業外収益			
1 受取配当金		237	
2 受取利息		150	
3 為替差益		12	
4 有価証券売却益		362	
5 有価証券償還益		22	
6 雑益		1,110	1,895
営業外費用			
1 雑損		2	2
経常損失（ ）			181,000
特別利益		-	-
特別損失	2	593	593
税引前中間純損失（ ）			181,593
法人税、住民税及び事業税		1,145	
法人税等調整額		1,960	3,105
中間純損失（ ）			184,699

(3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：千円)

第26期中間会計期間
 (自平成22年4月1日
 至平成22年9月30日)

株主資本

資本金

前期末残高	1,550,000
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	1,550,000

資本剰余金

資本準備金

前期末残高	504,824
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	504,824

資本剰余金合計

前期末残高	504,824
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	504,824

利益剰余金

繰越利益剰余金

前期末残高	695,310
当中間期変動額	
中間純損失()	184,699
当中間期変動額合計	184,699
当中間期末残高	880,009

利益剰余金合計

前期末残高	695,310
当中間期変動額	
中間純損失()	184,699
当中間期変動額合計	184,699
当中間期末残高	880,009

株主資本合計

前期末残高	1,359,514
当中間期変動額	
中間純損失()	184,699
当中間期変動額合計	184,699
当中間期末残高	1,174,815

第26期中間会計期間
(自平成22年4月1日
至平成22年9月30日)

評価・換算差額等

その他有価証券評価差額金

前期末残高 460

当中間期変動額

株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額) 460

当中間期変動額合計 460

当中間期末残高 -

評価・換算差額等合計

前期末残高 460

当中間期変動額

株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額) 460

当中間期変動額合計 460

当中間期末残高 -

純資産合計

前期末残高 1,359,974

当中間期変動額

中間純損失() 184,699

株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額) 460

当中間期変動額合計 185,159

当中間期末残高 1,174,815

中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項目	第26期中間会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)				
<p>1．資産の評価基準及び評価方法</p> <p>2．固定資産の減価償却の方法</p> <p>3．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準</p> <p>4．引当金の計上基準</p> <p>5．その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>有価証券</p> <p>(1) その他有価証券のうち、時価のあるものについては、中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。</p> <p>(2) その他有価証券のうち、時価のないものについては、移動平均法による原価法によっております。</p> <p>(1) 有形固定資産（リース資産を除く） 定率法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>15年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>3～20年</td> </tr> </table> <p>(2) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。 なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>外貨建金銭債権債務は、中間会計期間末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。</p> <p>(1) 賞与引当金 従業員賞与の支給に充てるため、賞与支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。</p> <p>(2) 退職給付引当金 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当中間会計期間末における要支給額を計上しております。 退職給付債務の計算に当たっては、「退職給付会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第13号）に定める簡便法によっております。</p> <p>消費税等の会計処理方法 税抜方式を採用しております。</p>	建物	15年	器具備品	3～20年
建物	15年				
器具備品	3～20年				

中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

第26期中間会計期間
(自 平成22年 4月 1日
至 平成22年 9月30日)

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当中間会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年 3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年 3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失、経常損失はそれぞれ490千円、税引前中間純損失は918千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は5,685千円であります。

(企業結合に関する会計基準の適用)

当中間会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

注記事項

（中間貸借対照表関係）

項目	第26期中間会計期間末 （平成22年9月30日現在）
1 有形固定資産の減価償却累計額	58,761千円
2 消費税等の取扱い	仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

（中間損益計算書関係）

項目	第26期中間会計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）
1 減価償却実施額	有形固定資産 18,981千円
2 特別損失	特別損失のうち主要なもの 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 428千円

（中間株主資本等変動計算書関係）

第26期中間会計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

1．発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前事業年度末 株式数（株）	当中間会計期間 増加株式数（株）	当中間会計期間 減少株式数（株）	当中間会計期間 末株式数（株）
発行済株式				
普通株式	16,860	-	-	16,860
合計	16,860	-	-	16,860
自己株式				
普通株式	-	-	-	-
合計	-	-	-	-

2．配当に関する事項

当中間会計期間における剰余金の配当金支払額はありません。

(リース取引関係)

第26期中間会計期間
 (自 平成22年 4月 1日
 至 平成22年 9月30日)

1. ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1) リース資産の内容

有形固定資産

器具備品であります。

(2) リース資産の減価償却の方法

中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項「2. 固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっており、その内容は次のとおりであります。

リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び中間期末残高相当額

	取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額 相当額(千円)	中間期末残高相当額 (千円)
器具備品	22,549	15,574	6,975
合計	22,549	15,574	6,975

未経過リース料中間期末残高相当額

1年内	4,828千円
1年超	2,698千円
合計	7,526千円

支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失

支払リース料	2,534千円
減価償却費相当額	2,254千円
支払利息相当額	204千円

減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。

(減損損失について)

リース資産に配分された減損損失はありません。

（金融商品関係）

第26期中間会計期間末（平成22年9月30日現在）

金融商品の時価等に関する事項

平成22年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含めておりません（注2．参照）。

	中間貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
現金・預金	660,692	660,692	-
資産計	660,692	660,692	-

注1．金融商品の時価の算定方法

資産

現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

注2．時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	中間貸借対照表計上額 (千円)
非上場株式	15,750
長期差入保証金	155,088

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象としておりません。

本社事務所の敷金である長期差入保証金は、当初から長期の入居を考えていることから退去年月を想定できないため、時価開示の対象としておりません。

（有価証券関係）

第26期中間会計期間末（平成22年9月30日現在）

1．満期保有目的の債券

該当事項はありません。

2．子会社株式及び関連会社株式

該当事項はありません。

3．その他有価証券

該当事項はありません。

（デリバティブ取引関係）

該当事項はありません。

（ストック・オプション等関係）

該当事項はありません。

（資産除去債務関係）

第26期中間会計期間末（平成22年9月30日現在）

資産除去債務のうち中間貸借対照表に計上しているもの

当中間会計期間における当該資産除去債務の総額の増減

前事業年度末残高（注）	5,685千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	- 千円
時の経過による調整額	51千円
資産除去債務の履行による減少額	- 千円
その他増減額	- 千円
当中間会計期間末残高	<u>5,736千円</u>

（注）当中間会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しているため、前事業年度の末日における残高に代えて、当中間会計期間の期首における残高を記載しております。

（セグメント情報等）

（追加情報）

第26期中間会計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

当中間会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

〔セグメント情報〕

第26期中間会計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

当社は、投資運用事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

〔関連情報〕

第26期中間会計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1．製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービス区分は、中間損益計算書の営業収益各項目の区分と同一であることから、製品及びサービスごとの営業収益の記載を省略しております。

2．地域ごとの情報

(1) 営業収益

中間損益計算書の営業収益の金額に占める本邦の外部顧客に対する営業収益に区分した金額の割合が90%を超えているため、地域ごとの情報の記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

中間貸借対照表の有形固定資産の金額に占める本邦に所在している有形固定資産の金額の割合が90%を超えているため、地域ごとの情報の記載を省略しております。

3．主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

（ 1 株当たり情報）

第26期中間会計期間 （自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日）	
1 株当たり純資産額	69,680円60銭
1 株当たり中間純損失金額（ ）	10,954円86銭
	なお、潜在株式調整後 1 株当たり中間純損失金額 については、1 株当たり中間純損失であり、また、 潜在株式がないため記載しておりません。

（注）1 株当たり中間純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第26期中間会計期間 （自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日）
中間純損失（ ）	184,699千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る中間純損失（ ）	184,699千円
普通株式の期中平均株式数	16,860株

（重要な後発事象）

ゼスト・アセットマネジメント株式会社との合併

当社は平成22年 8 月30日開催の臨時株主総会決議に基づき、平成22年10月 1 日付でゼスト・アセットマネジメント株式会社と合併いたしました。取引の概要等は以下のとおりであります。

1．取引の概要

(1) 結合当事企業及び当該事業の内容

結合当事企業の名称 ゼスト・アセットマネジメント株式会社
事業の内容 投資顧問業

(2) 企業結合日

平成22年10月 1 日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式

(4) 結合後企業の名称

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

平成22年 4 月 1 日に株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損害保険株式会社は、株式移転により共同持株会社であるNKSJホールディングス株式会社を設立し経営統合いたしました。当社はNKSJグループの資産運用機能の集中及び強化を図る目的で、平成22年10月 1 日に日本興亜損害保険株式会社の子会社であるゼスト・アセットマネジメント株式会社と合併いたしました。

2．実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定です。

第2【その他の関係法人の概況】

1 名称、資本金の額及び事業の内容

< 訂正前 >

(1) 受託会社

(略)

資本金の額

247,260百万円（平成22年3月末現在）

事業の内容

(略)

< 再信託受託会社の概要 >

(略)

資本金の額 : 50,000百万円（平成22年3月末現在）

(略)

(2) 販売会社

(単位：百万円、平成22年3月末現在)

名称	資本金の額	事業の内容
損保ジャパンDC証券株式会社	3,000	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
日興コーディアル証券株式会社	10,000	
楽天証券株式会社	7,477	
株式会社損害保険ジャパン	70,000	保険業法に基づき損害保険業を営んでいます。
株式会社みずほコーポレート銀行	1,404,065	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

(3) 投資顧問会社

(略)

資本金の額

a . 25千ドル（平成22年6月末現在）

（2,213千円、1ドル=88.51円換算）

b . 2,000百万円（平成22年3月末現在）

事業の内容

a . 米国において有価証券等に係る投資顧問業務及び投資信託委託業務を行っています。

*TCWグループ...THE TCW GROUP INC.が持株会社となっており、この傘下に、信託会社であるTRUST COMPANY OF THE WEST、投資顧問会社であるTCW ASSET MANAGEMENT COMPANY、投資信託運用会社であるTCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANY、METROPOLITAN WEST ASSET MANAGEMENT, LLCなどがあります。平成22年6月末現在の同グループの運用資産は、約1,088億ドルであり、資産別運用金額は、米国株式:211億ドル、米国債券(モーゲージ証券等含む):665億ドル、外国証券:73億ドル、オルタナティブ投資:139億ドルです。

(略)

< 訂正後 >

(1) 受託会社

(略)

資本金の額

247,303百万円（平成22年9月末現在）

事業の内容

(略)

<再信託受託会社の概要>

(略)

資本金の額 : 50,000百万円(平成22年9月末現在)

(略)

(2)販売会社

(単位:百万円、平成22年9月末現在)

名称	資本金の額	事業の内容
株式会社SBI証券	47,937	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
カブドットコム証券株式会社	7,196	
損保ジャパンDC証券株式会社	3,000	
SMB C日興証券株式会社	10,000	
みずほ証券株式会社	125,167	
楽天証券株式会社	7,495	
株式会社損害保険ジャパン	70,000	保険業法に基づき損害保険業を営んでいます。
株式会社みずほコーポレート銀行	1,404,065	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

(3)投資顧問会社

(略)

資本金の額

a . 25千ドル(平成22年12月末現在)

(2,037千円、1ドル=81.49円換算)

b . 2,000百万円(平成22年9月末現在)

事業の内容

a . 米国において有価証券等に係る投資顧問業務及び投資信託委託業務を行っています。

*TCWグループ...THE TCW GROUP INC.が持株会社となっており、この傘下に、信託会社であるTRUST COMPANY OF THE WEST、投資顧問会社であるTCW ASSET MANAGEMENT COMPANY、投資信託運用会社であるTCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANY、METROPOLITAN WEST ASSET MANAGEMENT, LLCなどがあります。平成22年12月末現在の同グループの運用資産は、約1,162億ドルであり、資産別運用金額は、米国株式:258億ドル、米国債券(モーゲージ証券等含む):654億ドル、外国証券:96億ドル、オルタナティブ投資:154億ドルです。

(略)

独立監査人の中間監査報告書

平成22年3月11日

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング20の平成21年7月16日から平成22年1月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング20の平成22年1月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成21年7月16日から平成22年1月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 中間財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成22年3月11日

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング30の平成21年7月16日から平成22年1月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング30の平成22年1月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成21年7月16日から平成22年1月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 中間財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成22年3月11日

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング40の平成21年7月16日から平成22年1月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング40の平成22年1月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成21年7月16日から平成22年1月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 中間財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成22年3月11日

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 英 公一 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 大村 真敏 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング50の平成21年7月16日から平成22年1月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング50の平成22年1月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成21年7月16日から平成22年1月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 中間財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成22年3月11日

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング60の平成21年7月16日から平成22年1月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング60の平成22年1月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成21年7月16日から平成22年1月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 中間財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成21年6月19日

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内田 満雄 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 白倉 健司 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第24期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社の平成21年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

重要な後発事象に記載のとおり、平成21年4月28日、会社を委託会社とする私募投資信託（既償還済）の関係者より、第二東京弁護士会仲裁センターに和解あっせんの申立てがなされた。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、当社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

独立監査人の中間監査報告書

平成23年3月14日

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング20の平成22年7月16日から平成23年1月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング20の平成23年1月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成22年7月16日から平成23年1月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . 中間財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成23年3月14日

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング30の平成22年7月16日から平成23年1月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング30の平成23年1月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成22年7月16日から平成23年1月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . 中間財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成23年3月14日

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング40の平成22年7月16日から平成23年1月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング40の平成23年1月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成22年7月16日から平成23年1月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . 中間財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成23年3月14日

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング50の平成22年7月16日から平成23年1月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング50の平成23年1月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成22年7月16日から平成23年1月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . 中間財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成23年3月14日

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング60の平成22年7月16日から平成23年1月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング60の平成23年1月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成22年7月16日から平成23年1月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . 中間財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成22年6月11日

損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 羽柴 則央 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第25期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 上記は、当社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成22年12月1日

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 真敏 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 羽柴 則央 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社（旧会社名 損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社）の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第26期事業年度の中間会計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書及び中間株主資本等変動計算書について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社（旧会社名 損保ジャパン・アセットマネジメント株式会社）の平成22年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

追記情報

重要な後発事象に記載のとおり、会社は平成22年8月30日開催の臨時株主総会決議に基づき、平成22年10月1日付でゼスト・アセットマネジメント株式会社と合併した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、当社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。